# 国道112号 山形南道路（やまがた みなみ）
# 計画段階評価
# 第2回　説明資料

１．計画段階評価の検討の流れ
２．第１回地域の意見聴取結果の確認
３．政策目標の設定
４．対応方針（ルート帯案）の検討
５．第２回地域の意見聴取の方法

令和4年11月4日
国土交通省　東北地方整備局

# 1．計画段階評価の検討の流れ

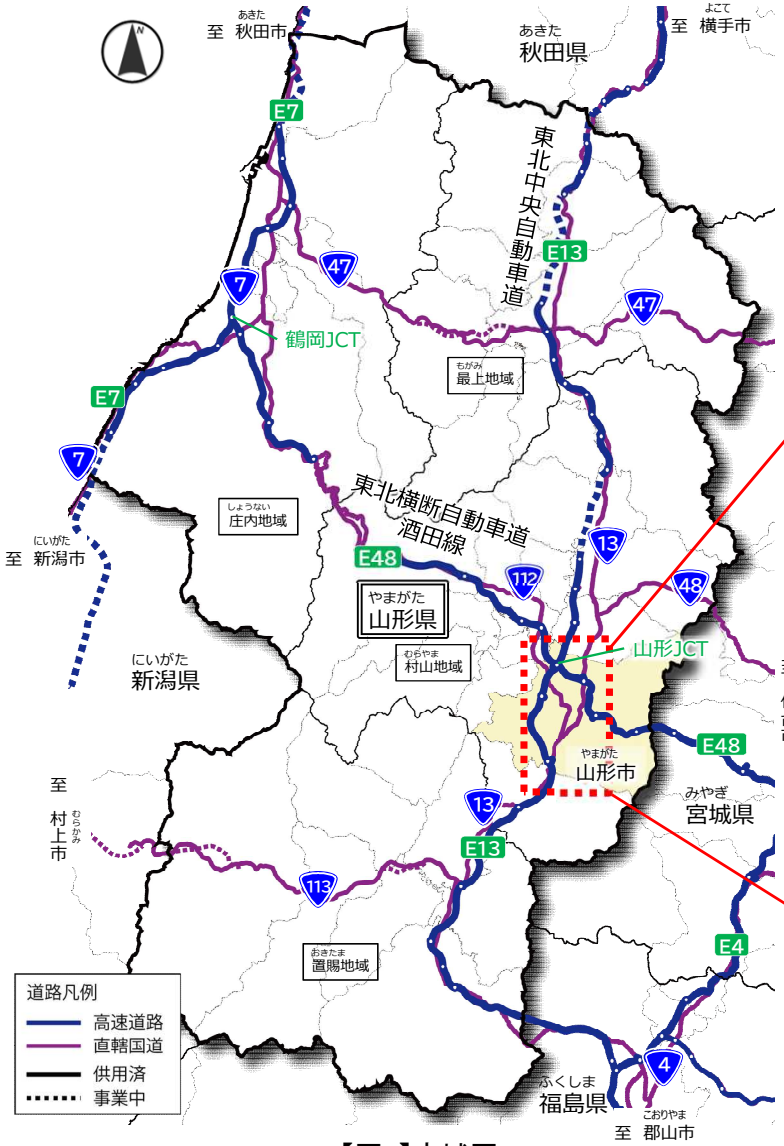
# 1-1. 評価対象区間



◆ 山形県の県都である山形市は東北中央自動車道や東北横断自動車道酒田線が交差し、山形県を南北に縦断する国道13号と山形市を起点とする国道112号の他、国道286号や国道348号が分岐・合流するなど、広域道路交通の要衝であり、平成31年4月には中核市※に移行。

◆ 評価対象区間は、山形中心市街地の南西部に位置する、山形市蔵王～同市西崎間の約9km。

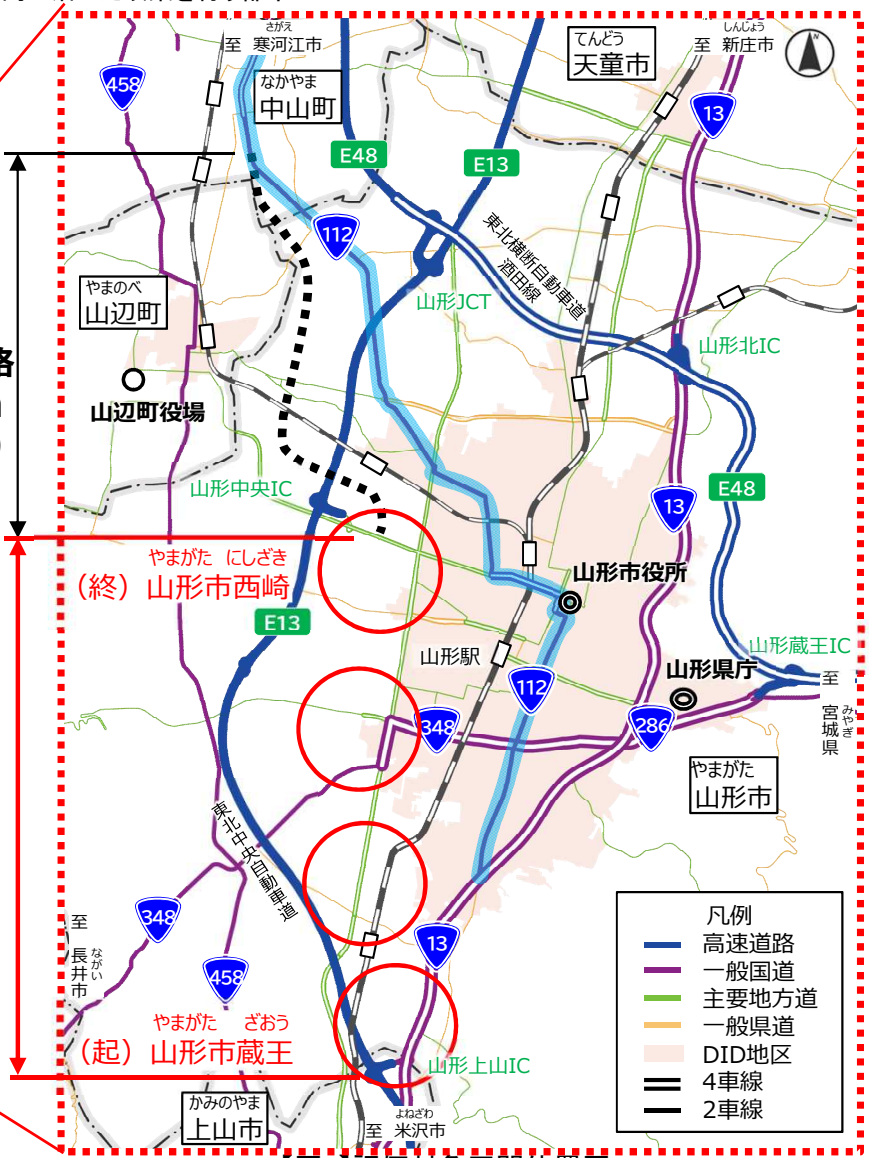
※中核市：人口20万人以上の都市で、都道府県の権限を一部委譲することにより効率的かつ市民の意向に沿った政策を行う都市




【図1】広域図

やまがたなかやま
**山形中山道路**
**延長7.4km**
**（R2事業化）**

**評価対象区間**
**（約9km）**




【図2】評価対象区間位置図

# 1-2. 前回(第1回)審議内容



■第36回社会資本整備審議会　道路分科会　東北地方小委員会の概要

実施日：令和3年11月30日（火）開催

議事：①評価対象区間
②評価対象範囲
③計画段階評価の進め方（案）
④地域の概況
⑤道路交通・地域の状況と課題
⑥政策目標（案）の設定
⑦地域の将来像
⑧意見聴取方法（案）

【表1】前回審議における主な指摘事項と対応状況

| 指摘事項 | 対応状況 |
|---|---|
| ・市中心部（国道112号）における通過交通にも配慮すること。<br>・通過や発着交通の分担について分析できるよう、アンケートで工夫すること。 | ・アンケート票にて、回答者の交通特性（通過・発着・内々）が分かる設問を追加することで対応（P.8） |
| ・若年層のアンケート回答数を増やすよう工夫すること。 | ・WEBでの意見聴取を促し、SNSや事務所、自治体HP等で周知することで対応（P.9） |
| ・アンケートでは性別の聞き方に配慮すること。 | ・回答は任意とすることで対応（P.8） |

# 1-3. 今後の計画段階評価の進め方（案）



◆ 地域住民・事業者・道路利用者の意見を聞きながら、ルート帯案について検討を行う。

計画段階評価

**第１回 東北地方小委員会**（R3.11.30）

■計画段階評価手続きの進め方（案）

■地域の状況と課題

■政策目標（案）

■意見聴取方法（案）

**第１回 意見聴取**（R4.1.25～R4.3.28）

●意見聴取内容
- 地域、道路の課題
- 求められる道路機能

●意見聴取方法
《アンケート》
対象者：地域住民
事業者
道路利用者

《ヒアリング》
対象者：関係自治体
関係団体
事業者　等

今回

**第２回 東北地方小委員会**（R4.11.4）

■第1回意見聴取結果の確認

■政策目標の設定

■対応方針（ルート帯案）の検討

■（第2回）意見聴取方法（案）

**第２回 意見聴取**

●意見聴取内容
- 対応方針（ルート帯）の検討に際し重視する項目

●意見聴取方法
《アンケート》
対象者：地域住民
事業者
道路利用者

《ヒアリング》
対象者：関係自治体
関係団体
事業者　等

**第３回 東北地方小委員会**

■第2回意見聴取結果の確認

■対応方針案
（概略ルート、構造等）

**対応方針（概略ルート・構造等）の決定**

地方小委員会

# ２．第１回地域の意見聴取結果の確認

# 2-1. 地域の意見聴取(第1回)の実施内容



◆ 地域の意見聴取(第1回)は、地域住民・道路利用者・事業者へのアンケート調査、及び関係団体へのヒアリング調査を実施。

## 1. 意見聴取期間

令和4年1月25日～令和4年3月28日

## 2. 意見聴取の対象

【表1】アンケート調査による意見聴取の対象

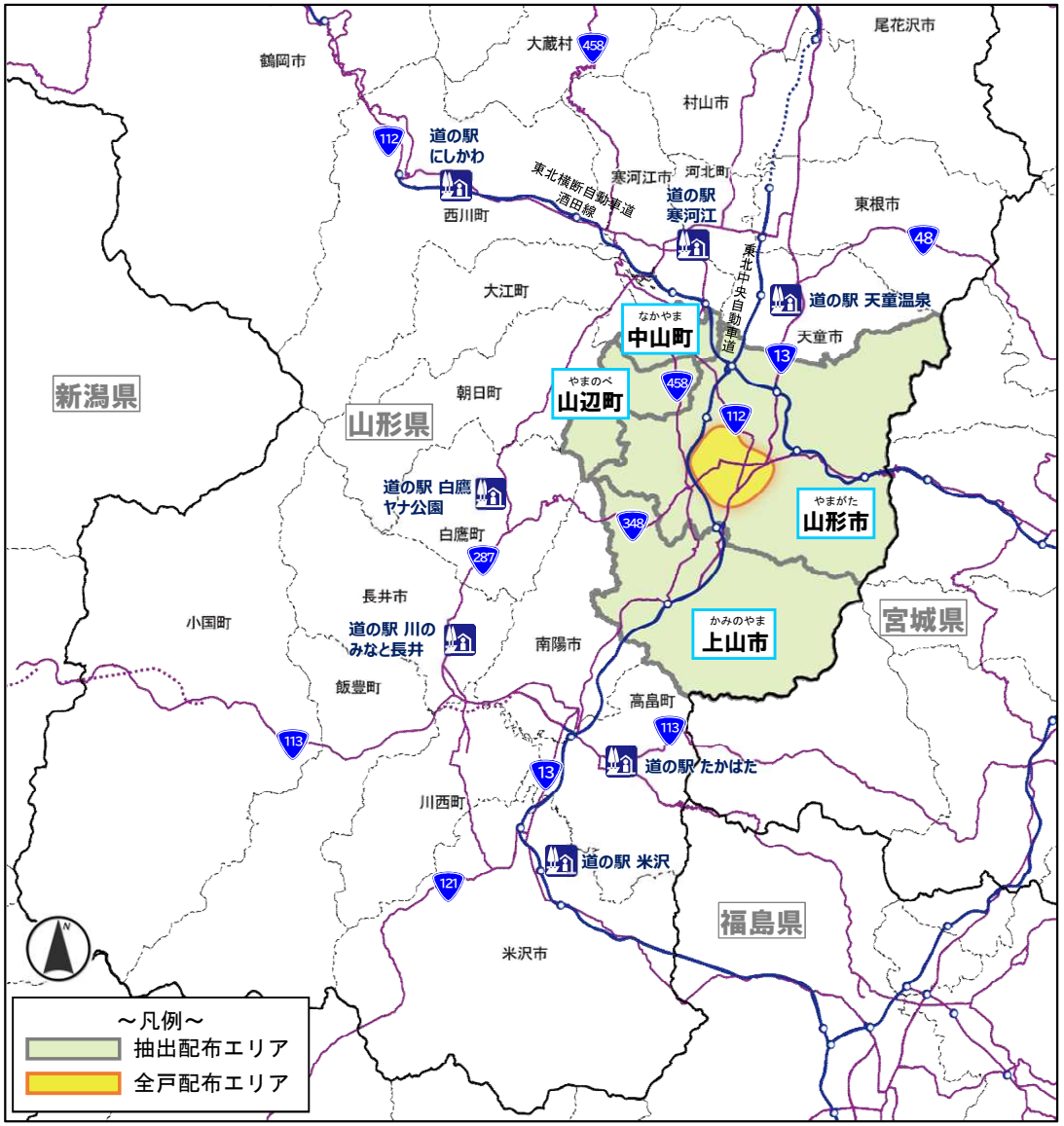
| 項目 | | 調査対象 | 調査手法・規模 |
|---|---|---|---|
| 地域住民 | 沿線地域 | 山形市(評価対象範囲沿線地域) | 全戸配布　40,980票 |
| | 周辺地域 | 山形市(評価対象範囲沿線地域外)、上山市、山辺町、中山町 | 抽出配布　22,043票 |
| 道路利用者 | | 沿線の道路利用者 | ・WEBアンケート<br>(事務所ホームページ)<br>・留置アンケート(14箇所)※1 |
| 事業者 | | 沿線事業者<br>(山形市、上山市、山辺町、中山町の製造業、卸売業、サービス業及びバス・タクシー・トラックの各協会加入事業者) | ・郵送配布、郵送回収<br>494団体 |

※1留置きアンケートについては、以下の施設にアンケート調査票・回収箱を常設した。
役所　:山形河川国道事務所、山形県庁、山形県村山総合庁舎、山形市役所、上山市役所、山辺町役場、中山町役場
道の駅:道の駅白鷹ヤナ公園、道の駅川のみなと長井、道の駅たかはた、道の駅天童温泉、道の駅寒河江、道の駅にしかわ、道の駅米沢

※2抽出エリア
沿線地域:評価対象範囲沿線(評価対象路線から500m)がカバーできる範囲を基本
周辺地域:評価対象範囲に含まれる幹線道路(県道以上)の評価対象範囲地域外の沿線を基本に抽出

【表2】ヒアリング調査による意見聴取の対象

| 項目 | ヒアリング対象 | |
|---|---|---|
| 関係自治体<br>関係団体<br>事業者　等 | ○自治体【5自治体】<br>○観光協会【2団体】<br>○バス協会【1団体】<br>○農業協同組合【2団体】<br>○消防機関【2団体】<br>○教育機関【2校】 | ○経済団体【4団体】<br>○トラック協会【1団体】<br>○タクシー協会【1団体】<br>○警察機関【1団体】<br>○医療機関【2団体】<br>○製造業【5社】 |



# 2-2. 地域の意見聴取(第1回)のアンケート回収状況



◆ 地域住民へのアンケートは、山形市の評価対象範囲沿線地域に全戸配布、その他の山形市、上山市、山辺町、中山町に抽出配布、Webアンケート・留置アンケートを実施。全体の回収数は20,140票、郵送配布における世帯単位での回収率は約21%となった。

◆ 事業者へのアンケートは、対象地域の製造業者、沿線の物流業者を対象に行い、全体の回収数は262票、郵送配布における回収率は50%となった。

【表1】アンケート調査票の回収状況

| 分類 | 配布方法 | 配布数 | 回収数 | 回収率 |
|---|---|---|---|---|
| 地域住民・道路利用者 | 郵送配布<br>(回答ハガキを2枚添付) | 63,023世帯 | 12,930世帯※1 | 約21% |
| | はがき回答 総数 | ― | 17,852票※2 | ― |
| | 留置 | ― | 141票 | ― |
| | Web | ― | 2,147票 | ― |
| | 合計 | ― | 20,140票 | ― |
| 事業者等 | 郵送配布 | 494社 | 247社<br>(うち97社はWeb回答) | 50% |
| | Web | ― | 15社 | ― |
| | 合計 | ― | 262社 | ― |

※1. 1枚目・配布はがき記載二次元コードからの回答を合計した数
※2. ※1に2枚目を合計した数

# 2-3. 地域の意見聴取（第1回）の実施状況（アンケート調査票・はがき）



◆調査票（はがき）に、世帯ごとに異なるナンバリングを行い、回答した世帯数を把握できるように調査を実施。
◆対象範囲の利用状況（通過、発着、内々）の問いを設け、回答者の交通特性を把握できるように調査を実施。
◆性別は記入方式とし、任意に回答できるように配慮。

■地域意見聴取内容

［回答者属性］ 年齢、職業、性別（任意）、住所
［問1］ 対象範囲の利用状況（目的、手段、頻度、主な出発地・目的地）
［問2］ 対象範囲の課題について
［問3］ その他意見・要望

「評価対象範囲」を
アンケート対象範囲
（対象範囲）として質問

＜はがき回答票・はがき表面＞

評価対象範囲の利用状況（通過、発着、内々）の問いを設け、回答者の交通特性を把握できるように調査

＜はがき裏面＞

こちらは裏面（表面からの続き）です。　1枚目

| 質問① 対象範囲（山形都市圏南部）の道路利用についてお聞きします。 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| (1)主な利用目的 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7（　　） |
| (2)主な移動手段 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| (3)利用頻度 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| (4)主な出発地・目的地 | 出発地 | 1 | 2 | 目的地 | 1 | 2 | |

質問②-(1) 対象範囲にはどのような課題があると思いますか？以下のA～Dの各項目について、あてはまる番号１つに○を付けて下さい。

| 項目 | そう思わない | あまりそう思わない | ややそう思う | そう思う |
|---|---|---|---|---|
| A. 渋滞により、通過に時間がかかる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| B. 交通事故が多いと感じる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| C. 物資輸送において課題がある | 1 | 2 | 3 | 4 |
| D. 救急医療施設へのスムーズな搬送に不安がある | 1 | 2 | 3 | 4 |

質問②-(2) 上記で提示した課題以外に、課題だと感じていることを具体的に記載してください。

質問③ その他、対象範囲におけるご意見やご要望がございましたら、ご自由に記載してください。

ご協力ありがとうございました

＜調査票表紙＞

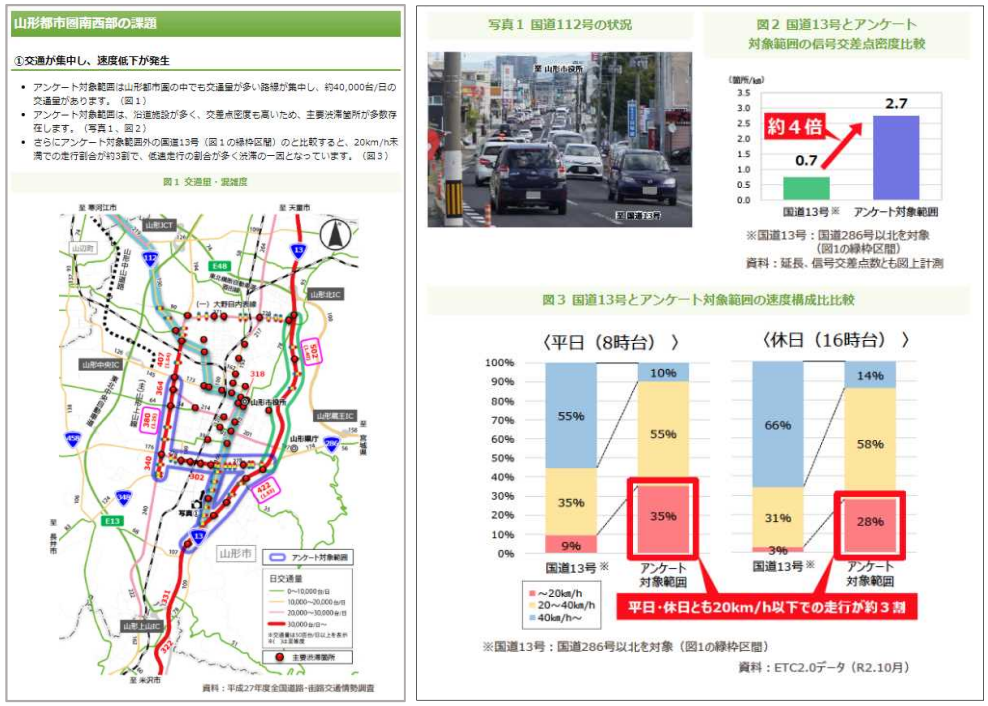
# 2-3. 地域の意見聴取（第1回）の実施状況（アンケート調査）



◆アンケート調査は、住民への郵送配布、留置、Webで実施。
◆課題の認識を高めるため、山形河川国道事務所のホームページに課題を詳しく掲載。
◆調査の周知に向けて、新聞広告や自治体広報・HP・SNS※（国交省、山形県、山形市）へ掲載。

※ SNS：LINE、Facebook、Twitter

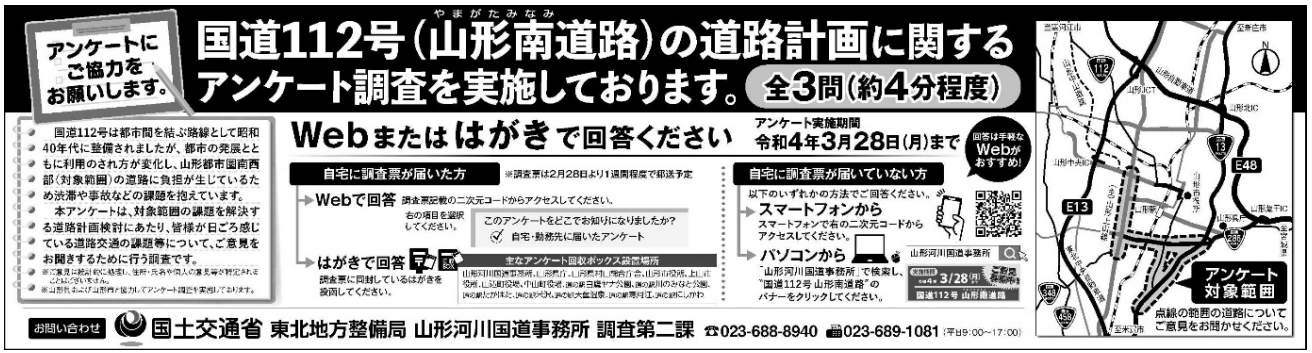
【図1】若年層への回答数増加策



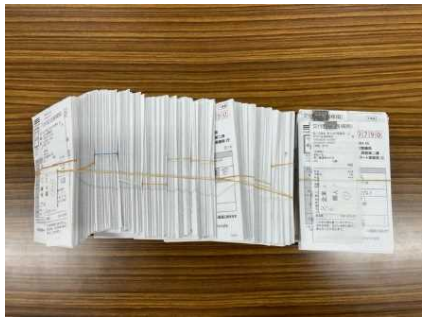

【図2】山形河川国道事務所HP

【図4】Webアンケート(住民)

【図5】自治体広報誌での周知チラシ




【図3】新聞広告



【写真1】回収はがき

【写真2】留置設置状況

# 2-3. 地域の意見聴取（第1回）の実施状況（ヒアリング調査）



◆関係自治体と関係団体、事業者（合計28の関係自治体、関係団体、事業者）に対して、地域が抱える課題についてヒアリング調査（訪問依頼、メール・電話調査）を実施。

【表1】地域意見聴取内容

・評価対象範囲の利用状況について
・評価対象範囲の課題について
・その他意見・要望

【表2】ヒアリング調査の対象（関係自治体）

| 分野 | 数 | 所在地 | 自治体名 |
|---|---|---|---|
| 自治体 | 5 | 山形市 | 山形県 |
| | | 山形市 | 山形市 |
| | | 上山市 | 上山市 |
| | | 山辺町 | 山辺町 |
| | | 中山町 | 中山町 |

【参考】ヒアリング調査対象抽出の視点

| ヒアリング調査対象 | 抽出の視点 |
|---|---|
| 自治体 | 山形南道路が通過する山形市、評価対象区間内路線の延長上にある周辺自治体及び山形県 |
| 経済団体<br>観光協会<br>農業協同組合<br>地元企業 | 経済活動を統括する関係団体及び事業者 |
| バス事業者<br>タクシー・トラック協会 | 地域内の物流・人流を担う関係団体及び事業者 |
| 消防機関<br>警察<br>医療機関 | 地域内の生活を支援する関係団体及び事業者 |
| 学校 | 日常的に歩道を利用する児童・生徒が所属する学校 |

【表3】ヒアリング調査の対象（関係団体、事業者）

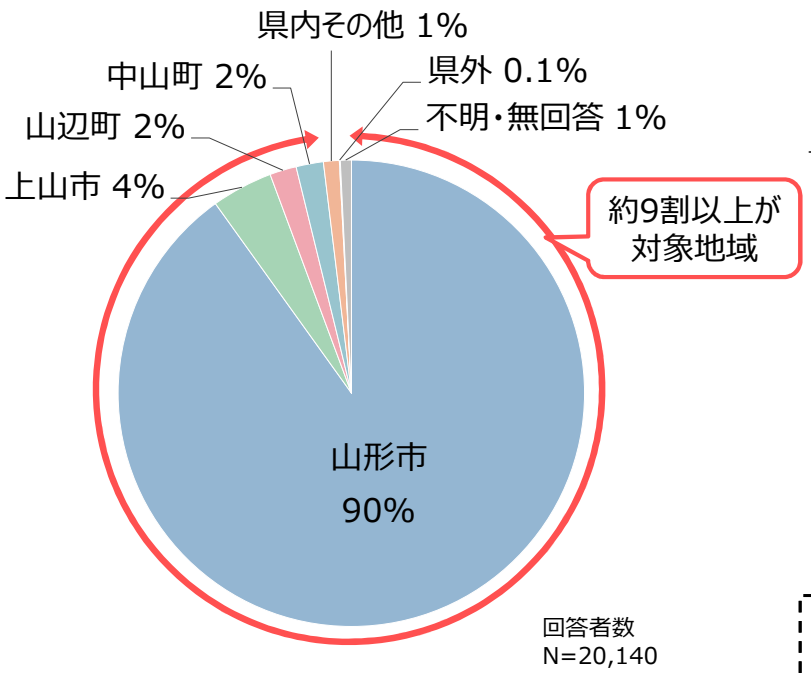
| 分野 | 数 | 所在地 | 機関・企業名 |
|---|---|---|---|
| 経済団体 | 4 | 山形市 | 山形商工会議所 |
| | | 上山市 | 上山市商工会 |
| | | 山辺町 | 山辺町商工会 |
| | | 中山町 | 中山町商工会 |
| 観光協会 | 2 | 山形市 | 山形市観光協会 |
| | | 上山市 | 上山市観光物産協会 |
| 農業協同組合 | 2 | 山形市 | JA山形市 |
| | | 山形市 | JAやまがた |
| 地元企業 | 5 | 山形市 | ㈱でん六 |
| | | 山形市 | ㈱ヤガイ |
| | | 山形市 | ミクロン精密㈱ |
| | | 山形市 | アリオンテック㈱ |
| | | 山形市 | 東ソー・クオーツ㈱ |
| バス | 1 | 山形市 | 山交バス㈱ |
| タクシー協会 | 1 | 山形市 | 山形県ハイヤー協会 |
| トラック協会 | 1 | 山形市 | 山形県トラック協会 |
| 消防機関 | 2 | 山形市 | 山形市消防本部 |
| | | 上山市 | 上山市消防本部 |
| 警察 | 1 | 山形市 | 山形警察署 |
| 医療機関 | 2 | 山形市 | 山形大学医学部附属病院 |
| | | 山形市 | 山形市立済生館 |
| 学校 | 2 | 山形市 | 山形市立南沼原小学校 |
| | | 山形市 | 山形市立第二中学校 |

# 2-4. 住民等への意見聴取の結果（属性）

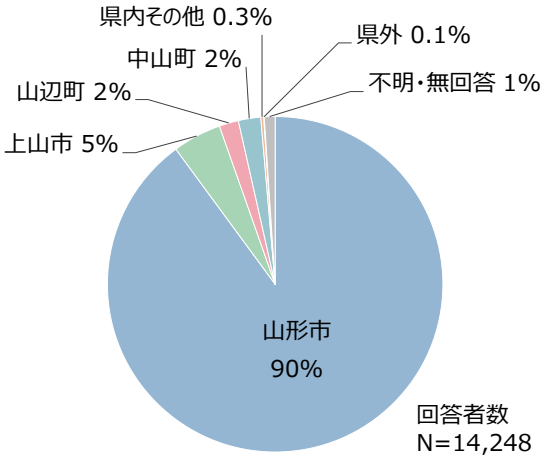


◆アンケート結果は、約9割以上が対象地域からの回答であり、すべての回答方法において、市町別配布割合と概ね整合した結果となった。

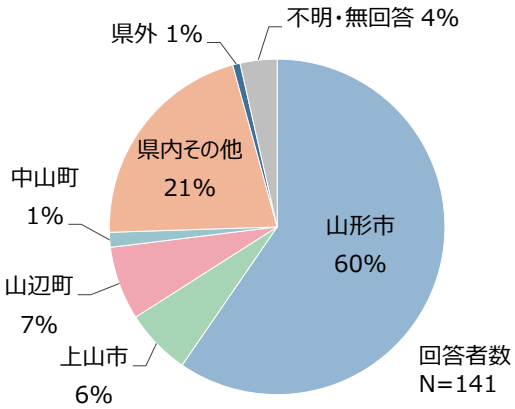
あなたについてお聞かせください。（回答者の属性：地域区分）



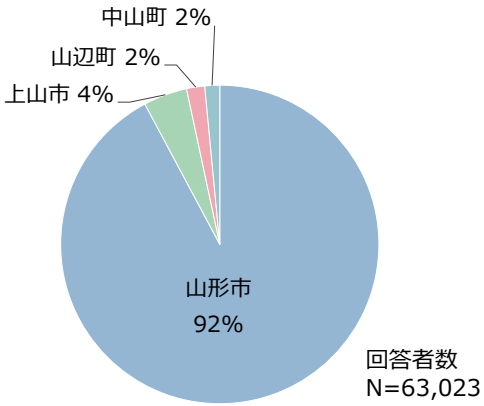

【図1】回答者居住地分布



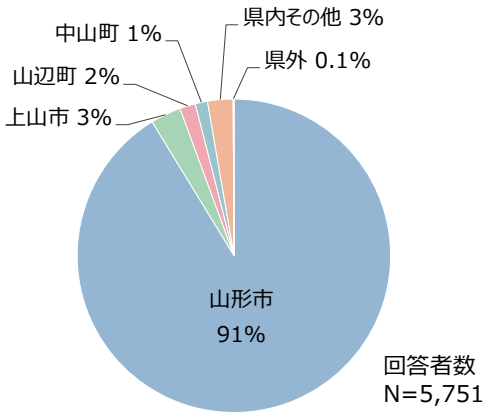

【図2】回答者居住地分布（郵送）




【図3】回答者居住地分布（留置）




【参考】市町別配布戸数の割合




【図4】回答者居住地分布（Web）

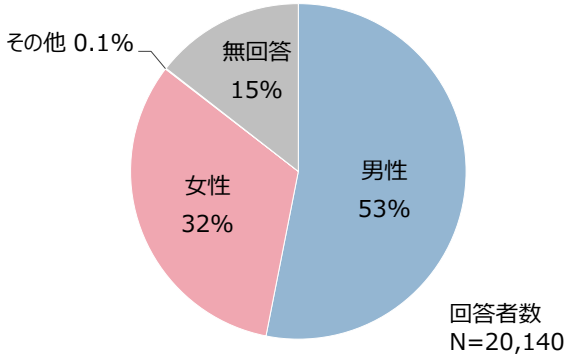
# 2-4. 住民等への意見聴取の結果（属性）



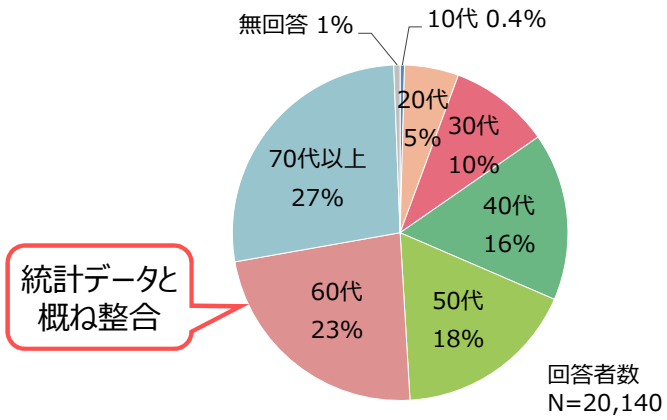
◆アンケート結果について、年齢別回答率は対象地域の統計データと概ね整合した結果となった。
◆就業率は対象地域の統計データと概ね整合した結果となった。

あなたについてお聞かせください。（回答者の属性：性別、年齢、職業）

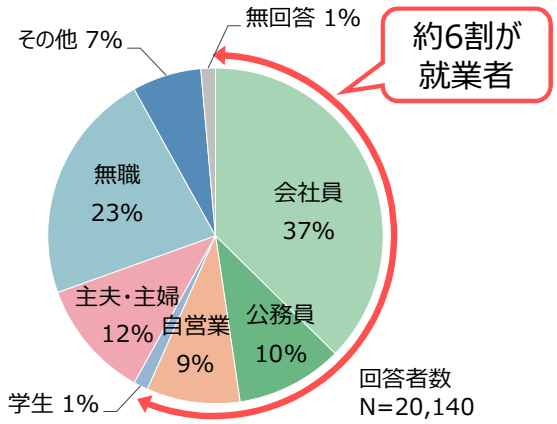
**アンケート結果**




【図1】性別

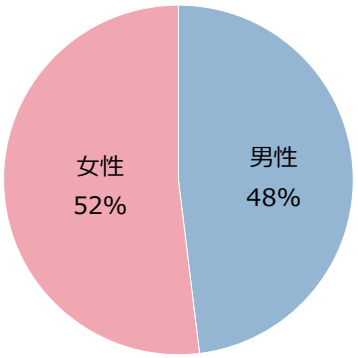



【図2】年齢

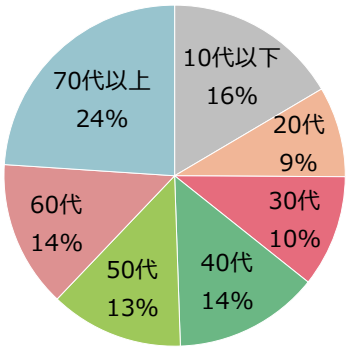



【図3】職業

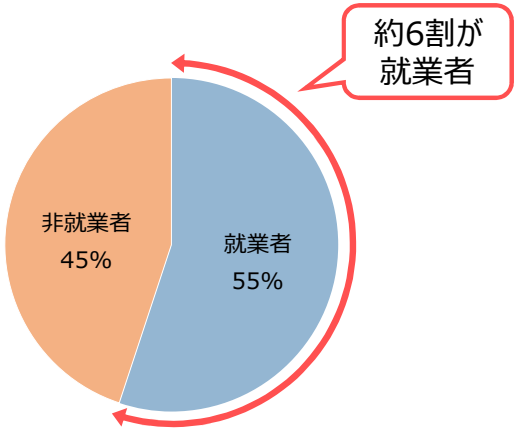
**【参考】※1 対象地域の統計データ**




【参考図1】性別




【参考図2】年齢




【参考図3】就業率※2

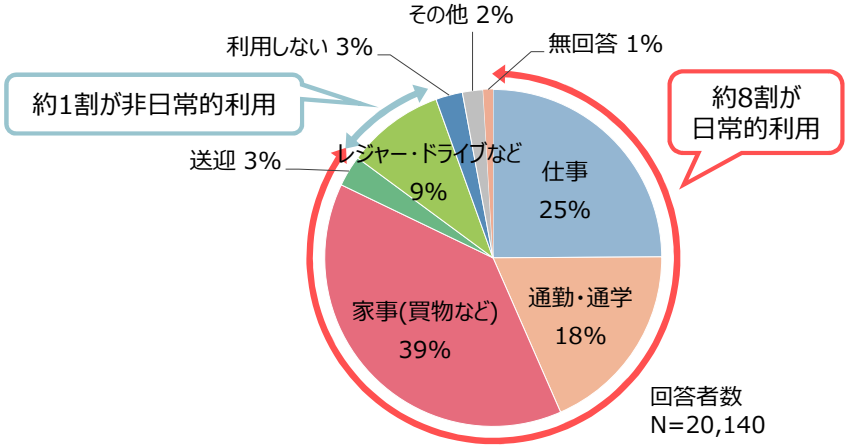
※1 対象地域：山形市、上山市、山辺町、中山町　※2 就業率=15歳以上の人口に占める就業者の割合

出典：R2国勢調査

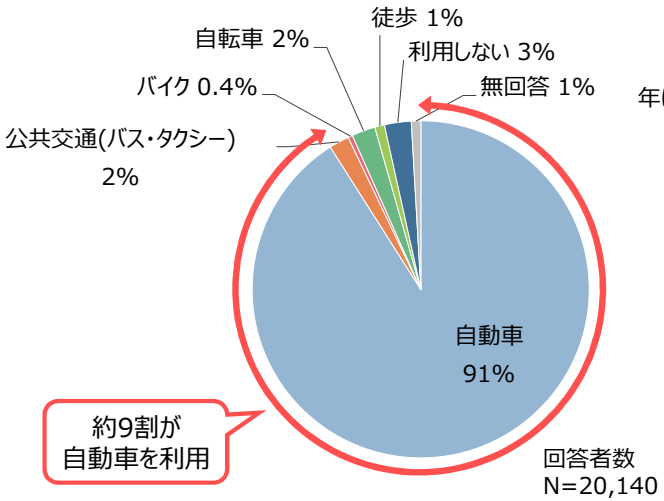
# 2-4. 住民等への意見聴取の結果（道路利用）①

◆利用目的では日常的利用が約8割を占めており、利用手段は「自動車」が約9割を占めている。
◆利用頻度は週1回以上の利用が約8割を占めており、自治体別では山形市が約8割、上山市、山辺町が約7割を占めている。
◆利用頻度の利用目的別では、「仕事」、「通勤・通学」、「家事（買物など）」、及び「送迎」での利用割合が高い。

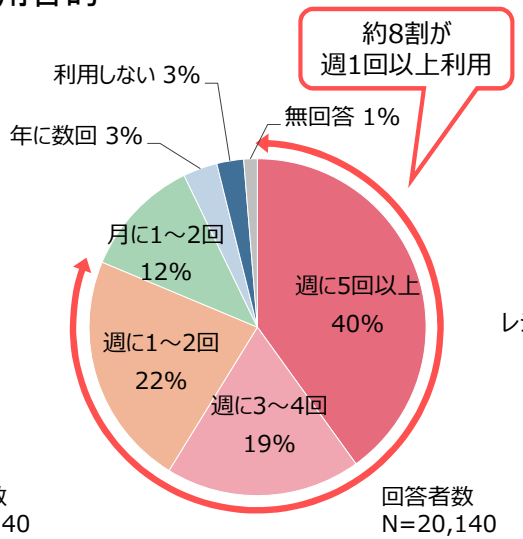
## 質問① 対象範囲（山形都市圏南西部）の道路利用についてお聞きします。



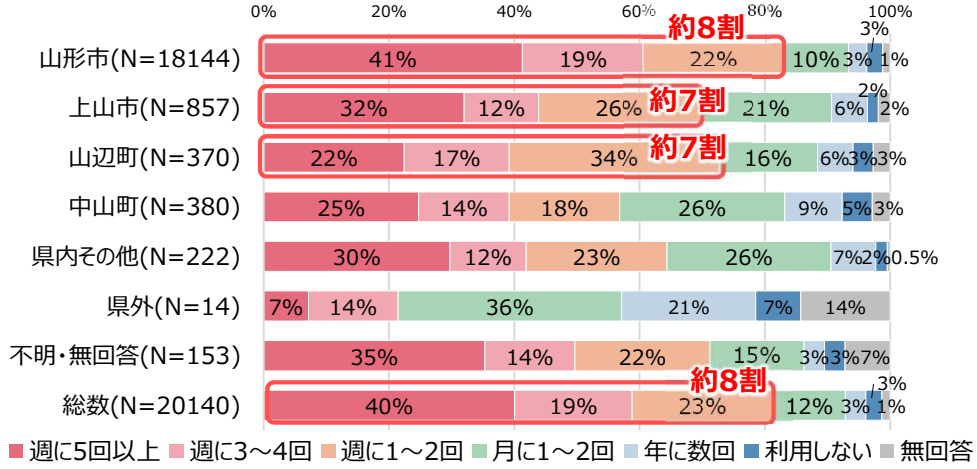

【図1】利用目的




【図2】利用手段

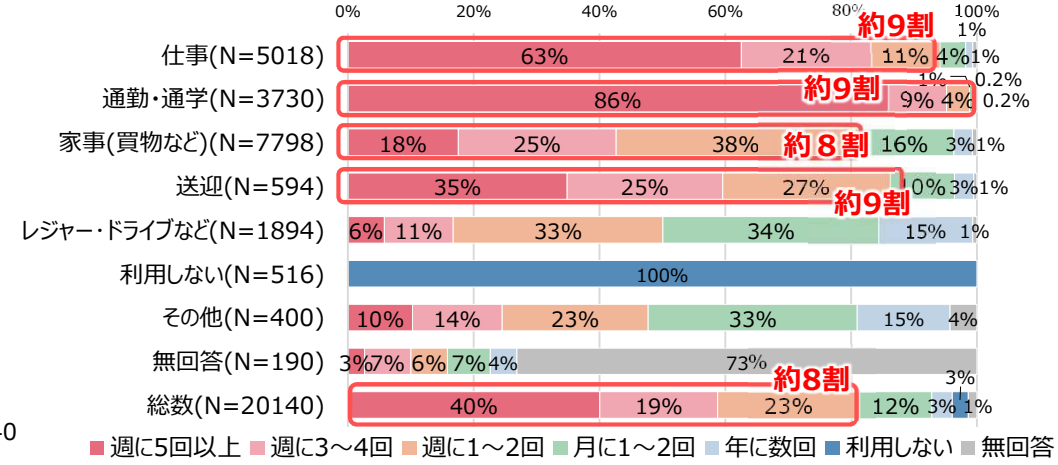



【図3】利用頻度




【図4】利用頻度（自治体別）

約8割が週に1回以上の利用




【図5】利用頻度（利用目的別）

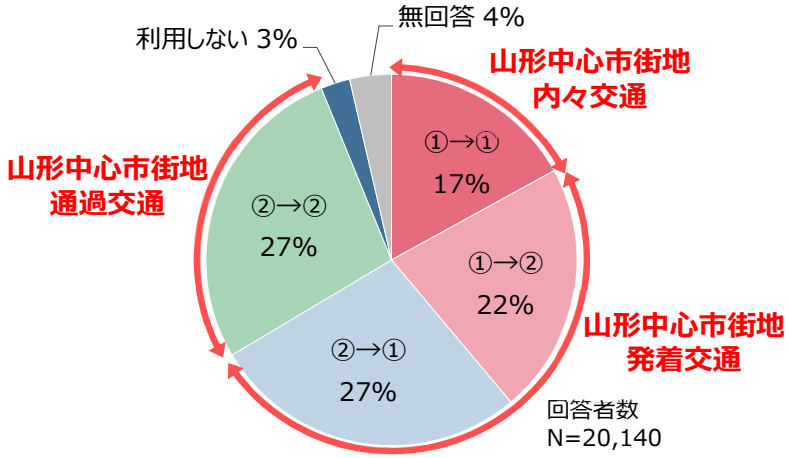
約8割が週に1回以上の利用

# 2-4. 住民等への意見聴取の結果（道路利用）②



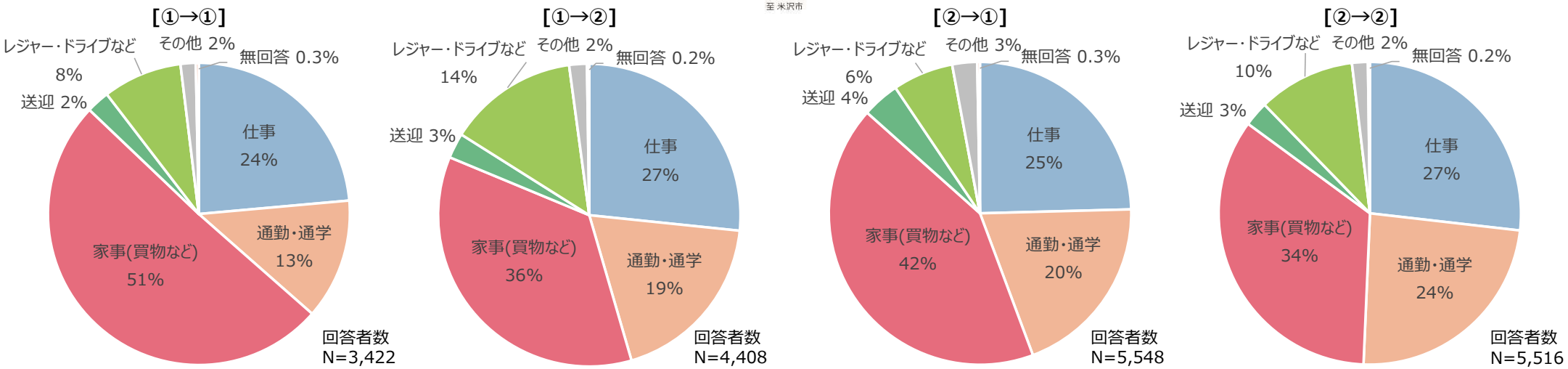
◆出発地・目的地割合は、①⇔②山形中心市街地発着交通が約5割程度となっている。
◆出発地・目的地別における利用目的では、①⇒①山形中心市街地内々交通では「家事（買物など）」の利用目的割合が高く、①⇔②山形中心市街地発着交通及び②⇒②山形中心市街地通過交通では「家事（買物など）」「仕事」「通勤・通学」の利用目的割合が高い。

質問①　対象範囲（山形都市圏南西部）の道路利用についてお聞きします。




【図1】主な出発地・目的地

～凡例～
①→①：山形中心市街地内移動
①→②：山形中心市街地⇒山形中心市街地外へ移動
②→①：山形中心市街地外⇒山形中心市街地へ移動
②→②：山形中心市街地外移動




【図2】主な出発地・目的地別における利用目的の集計

# 2-4. 住民等への意見聴取の結果（地域課題）①

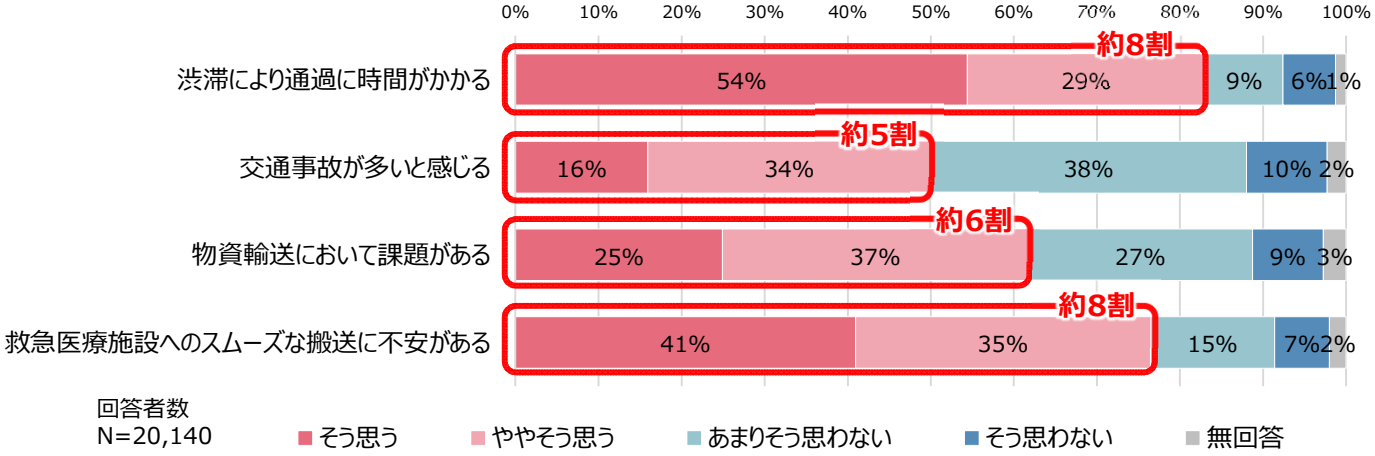


◆「渋滞により通過に時間がかかる」、「救急医療施設へのスムーズな搬送に不安がある」は、約8割が課題だと感じている。
◆「渋滞により通過に時間がかかる」、「交通事故が多いと感じる」、「物資輸送において課題がある」は、利用頻度が多いほど課題の認識が高い。

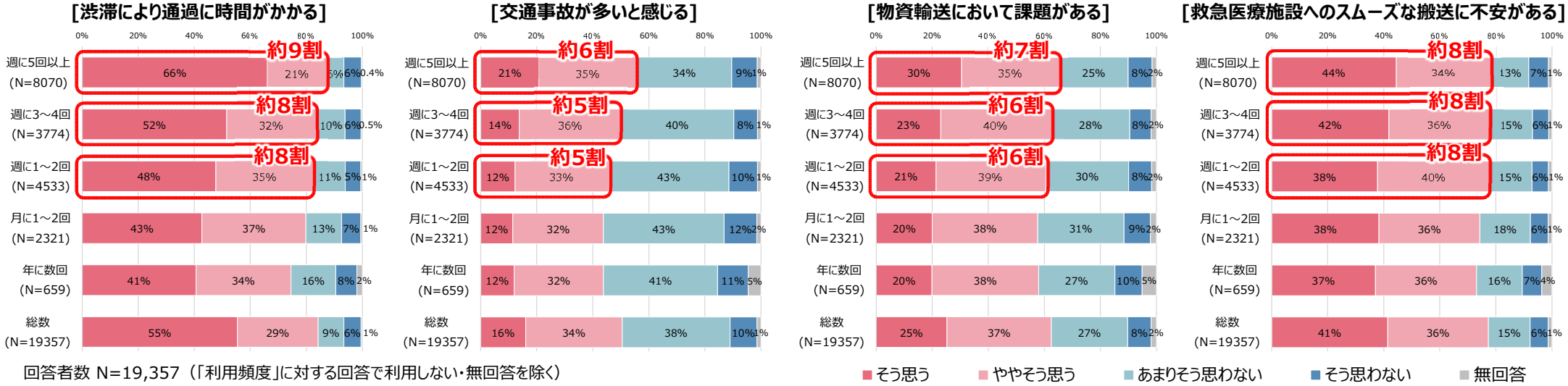
質問② 対象範囲（山形都市圏南西部）の課題についてお聞きします。

質問②-(1)
以下のA～Dの各項目について、あてはまる番号1つに〇を付けてください。

A. 渋滞により通過に時間がかかる
B. 交通事故が多いと感じる
C. 物資輸送において課題がある
D. 救急医療施設へのスムーズな搬送に不安がある




【図1】地域の課題



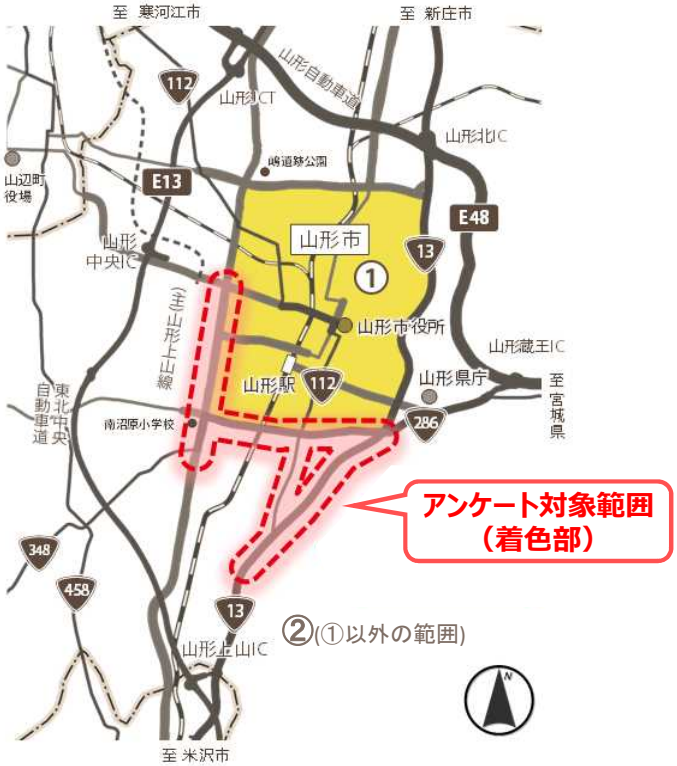

回答者数 N=19,357（「利用頻度」に対する回答で利用しない・無回答を除く）

【図2】利用頻度別における課題の集計

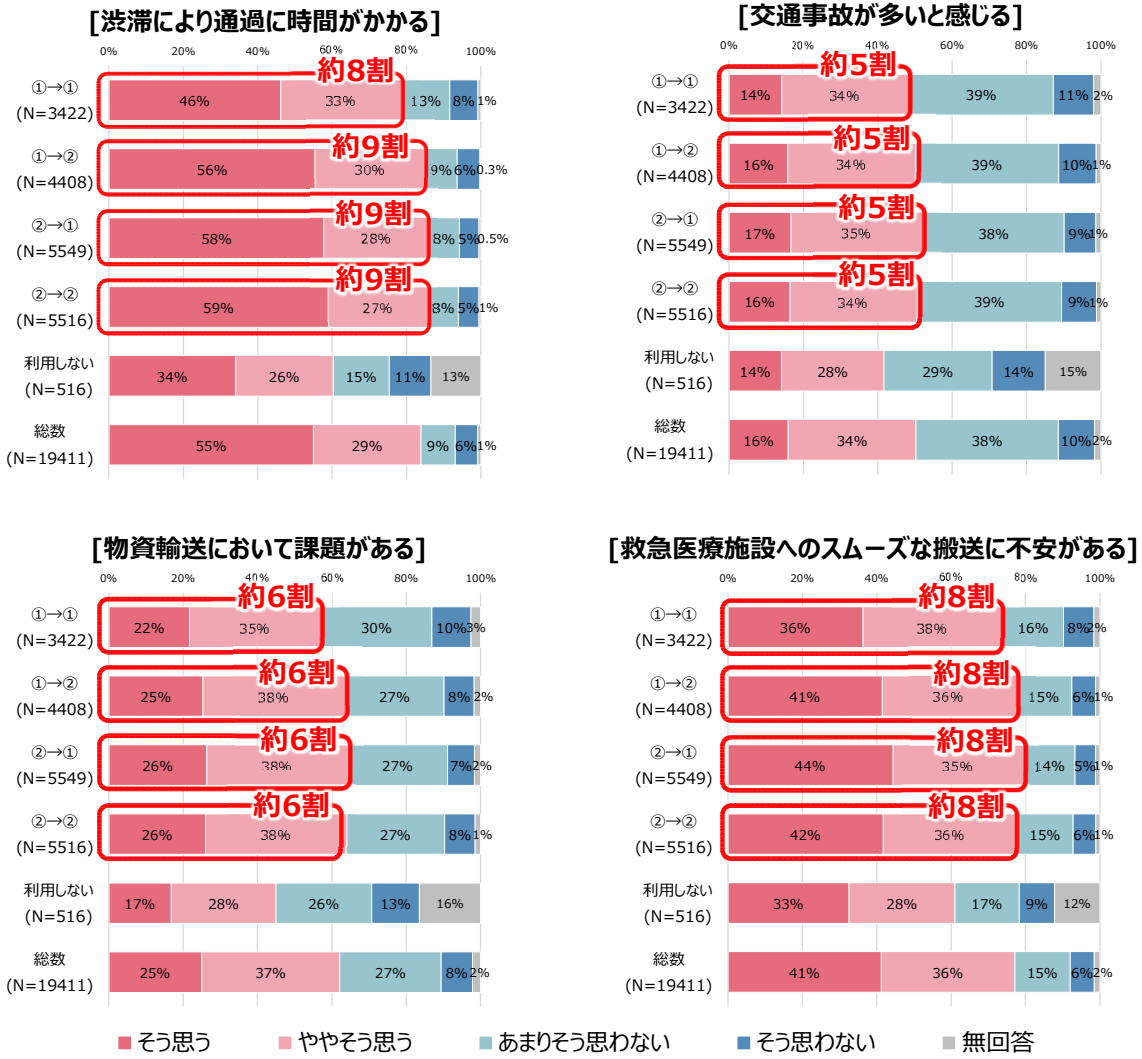
# 2-4. 住民等への意見聴取の結果（地域課題）②

◆出発地・目的地による地域の課題認識に大きな差は生じなかった。

質問② 対象範囲（山形都市圏南西部）の課題についてお聞きします。




～凡例～
①→①：山形中心市街地内移動
①→②：山形中心市街地⇒山形中心市街地外へ移動
②→①：山形中心市街地外⇒山形中心市街地へ移動
②→②：山形中心市街地外移動




【図1】主な出発地・目的地別における課題の集計

回答者数 N=19,411（図1の「主な出発地・目的地」に対する無回答を除く）

# 2-4. 住民等への意見聴取の結果（地域課題）③



◆設定した地域課題においては「渋滞」に係る意見が最も多く、約5割を占めており、「山形市街地を通過する車両による渋滞」等の意見をいただいた。
◆その他の意見として、事故については「自動車交通量が多く事故が心配」等の意見、産業については「生活交通と物流交通の混在」等の意見、救急搬送については「渋滞により救急車両が進めない」等の意見があった。

質問②-(2) ②-(1)で提示した課題以外に、課題だと感じていることを具体的に記載してください。

【表1】課題に対する自由意見

| 分類 | | 主な意見 |
|---|---|---|
| 地域課題【5,781件】 | 渋滞【3,103件】 | ・山形市街地を通過する車両が多いため、市街地で渋滞が発生。<br>・市街地へは国道112号を通るルートが最短であるが、通過に時間がかかるので迂回している。<br>・対象範囲で信号交差点の間隔が短く、交通量が多いため、スムーズな通行を妨げている。<br>・対象範囲は慢性的に渋滞しており、朝は早く出なくてはならない。 |
| | 事故【2,459件】 | ・国道112号は、店舗だけでなく住宅が多くあるが歩道が狭く、歩行者や自転車にとって優しくない道路である。自動車交通量も多いので事故が心配。<br>・渋滞による運転者の精神的負担（焦燥感・イライラ）から、あおり運転や無理な車線変更、赤信号に変わる際の無理な進入が起きており、事故を誘発している。<br>・対象範囲はトラック等の大型車が多く、スピードを出して走るため、安全面に不安。<br>・朝夕の通勤ラッシュ時に、渋滞を避けた車両が生活道路や農道等に流入し通学の児童や中学生が危険。 |
| | 産業【131件】 | ・対象範囲では生活交通と長距離輸送等の物流交通が同じ道路を通行している。<br>・生活道路を走行している大型物資輸送車が多くなっており、道路の破損や騒音、振動がひどい。<br>・対象範囲の交通渋滞が円滑な物資輸送に支障をきたしている。 |
| | 救急搬送【88件】 | ・対象範囲で渋滞により救急車両が進めない状況がある。<br>・救急車両の通過時間や到着時刻の遅れが不安。 |
| その他【1,597件】 | 整備への要望【543件】 | ・国道13号に対する西側に迂回するバイパス必要。<br>・もっと広い道路にしてほしい。<br>・南北線と同様に東西線の整備も必要。 |
| | その他【1,054件】 | ・除雪による道路や歩道の確保が必要。<br>・除雪作業が不十分で道路状況が悪い。 |

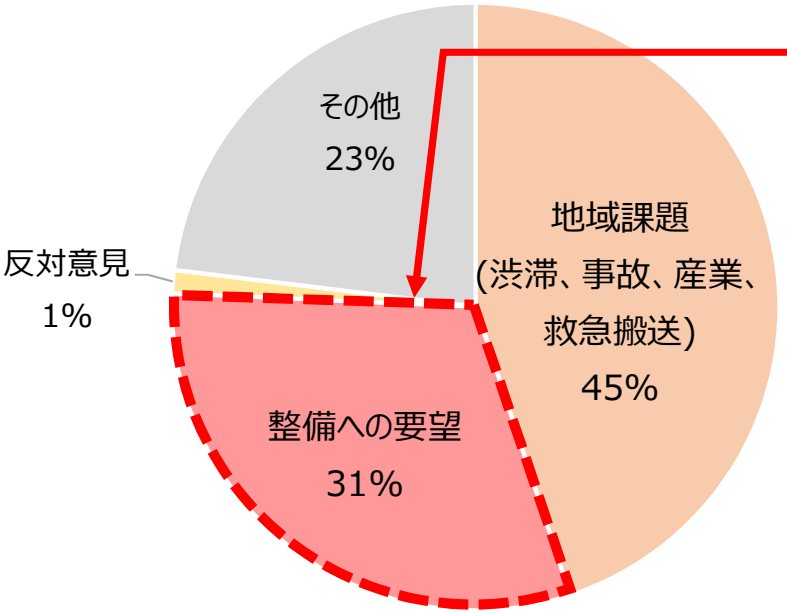
※複数の分類に該当する意見があるため、自由意見回答者数と回答数合計は一致しない。

# 2-4. 住民等への意見聴取の結果（意見・要望）



◆対象範囲への意見については、提示した「地域課題」への意見の他、「整備への要望」に関する意見が約3割を占めている。地域課題についての意見は、質問②-(2)の回答と同じ傾向であった。
◆「整備への要望」について、新規道路・拡幅等については「市街地を通り抜けるための別ルートがあると良い」等の意見、その他については「信号が変わるタイミングの調整」等の意見があった。

質問③　その他、対象範囲におけるご意見やご要望がございましたらご自由に記載してください。




【図1】自由意見の回答内訳（5,699件）

【表1】課題に対する自由意見

| 分類 | | 主な意見 |
|---|---|---|
| 整備への要望 | 新規道路・拡幅等【599件】 | ・市街地の道路沿いの施設や通り抜ける場合は、対象範囲の道路を通ることが多い。通り抜けるための別ルートの幹線道路があると良い。<br>・交通の流れを分散するためにも、早期バイパスの建設を望む。<br>・国道13号は6車線必要。<br>・国道112号の拡幅工事だけでは、交通容量が脆弱ではないか。<br>・対象範囲は中央分離帯をつくって、交差点以外では右折できないようにしてほしい。<br>・市街地の環状道路となっているため、道路幅を拡張してほしい。 |
| | その他【1,154件】 | ・信号交差点から次の信号交差点までの信号がかわるタイミングの調整を考えてほしい。<br>・対象範囲エリアには学校があり、学生が安全に通学できる環境にしてほしい。 |
| 反対意見【69件】 | | ・朝夕のラッシュ時を避けて運転をしているため、不便は感じない。<br>・人口や車が減少していくなかで、多額な税金を投入してまで整備する必要があるのか。 |
| その他【1,315件】 | | ・早期着手を行わないと工事費も高くなり、災害が襲ってくると思う。<br>・凍結して、凸凹な路面になることがあり、ストレスを感じる。<br>・主要な幹線道路だが、信号が多すぎる。 |

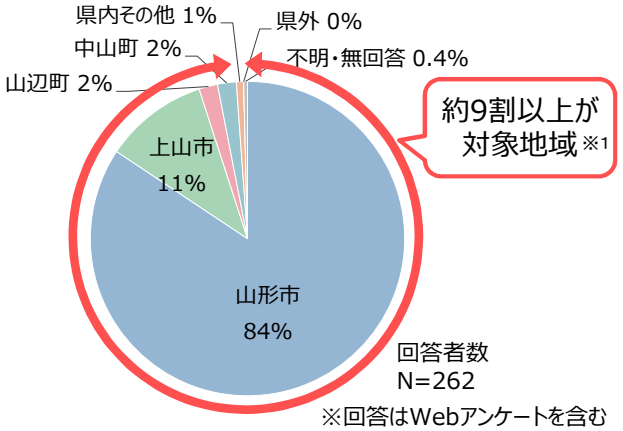
※地域課題（渋滞、事故、産業、救急搬送）の意見数：2,562件
※地域課題4項目以外の意見数：3,137件

※複数の分類に該当する意見があるため、
自由意見回答者数と回答数合計は一致しない。

# 2-5. 事業者への意見聴取の結果（属性・道路利用）

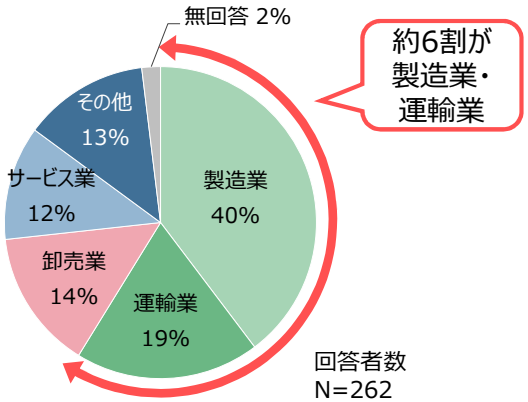
◆アンケート結果は、約9割以上が対象地域からの回答であり、「製造業」、「運輸業」からの回答が約6割を占めている。
◆利用目的は「営業」が約4割、利用頻度は週1回以上が約9割を占めている。
◆利用目的別利用頻度は、週1回以上の利用が「営業」・「運送・運輸」では約9割、「送迎」・「旅客」では10割を占める。

## 貴事務所についてお聞かせください。



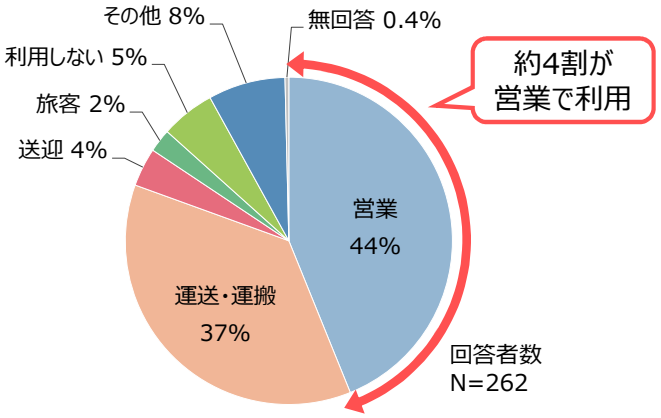

【図1】所在地

※１ 対象地域：山形市、上山市、山辺町、中山町

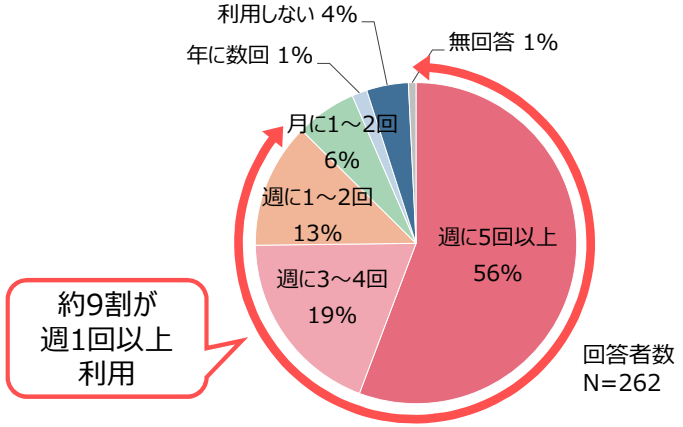



【図2】業種

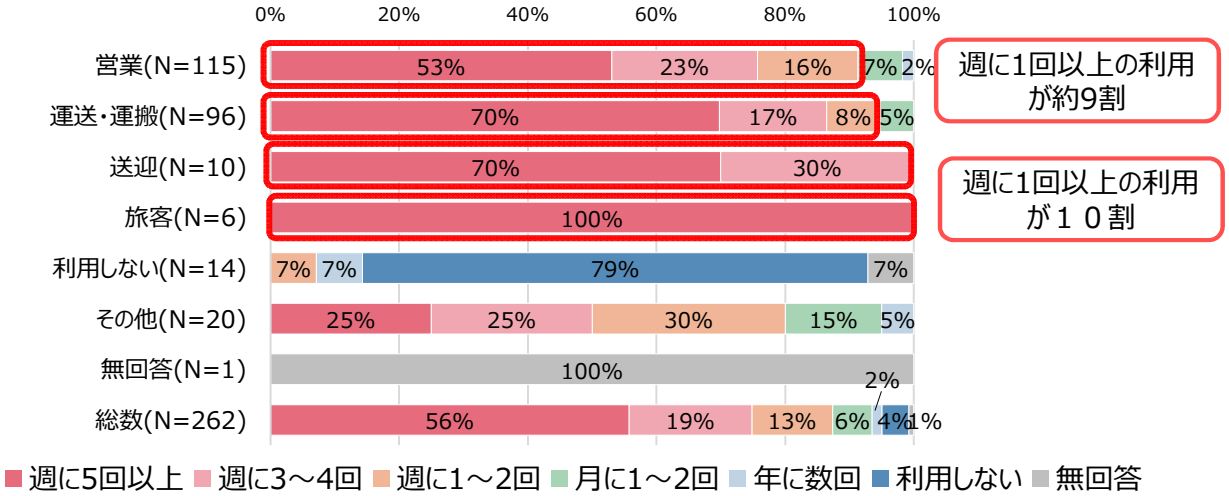
## 質問① 対象範囲（山形都市圏南西部）の道路利用についてお聞きします。




【図3】利用目的




【図4】利用頻度

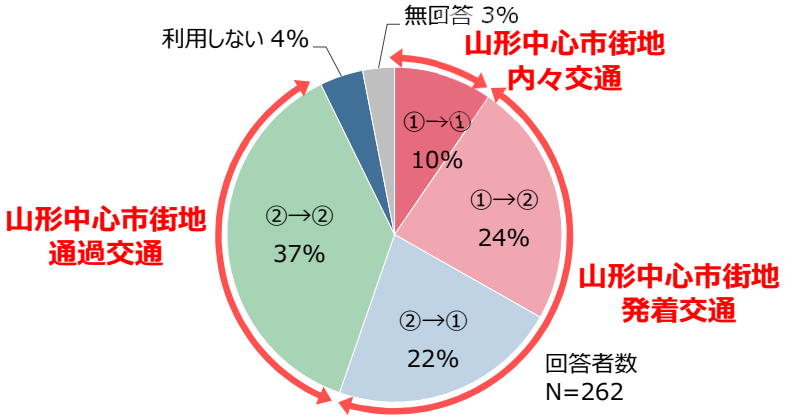



【図5】利用頻度（利用目的別）

# 2-5. 事業者への意見聴取の結果（道路利用）

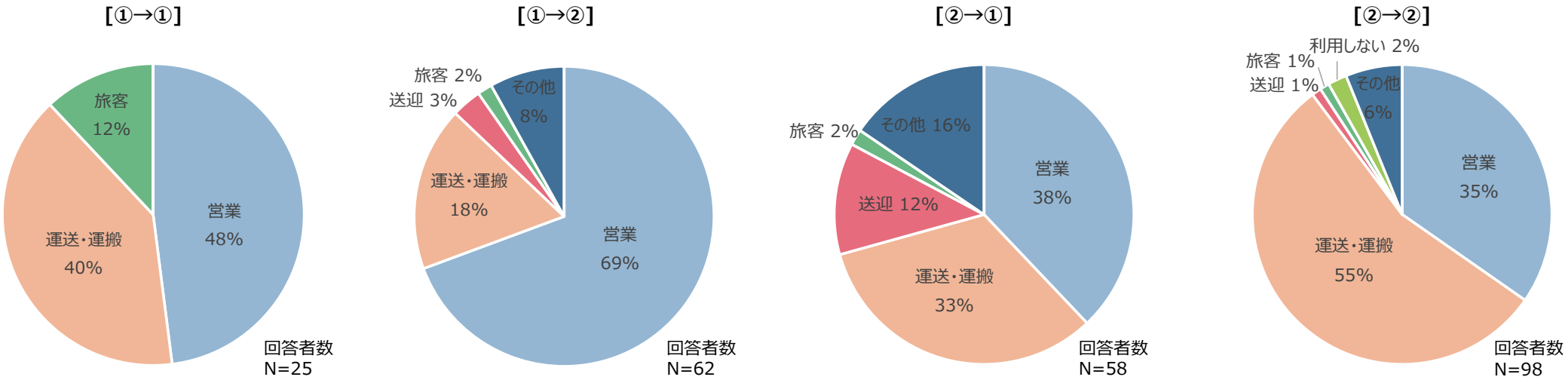
◆出発地・目的地割合は、②⇒②山形中心市街地通過交通が約4割程度となっている。
◆出発地・目的地別における利用目的では、①⇒①山形中心市街地内々交通、及び①⇔②山形中心市街地発着交通で「営業」の利用目的割合が高く、②⇒②山形中心市街地通過交通では「運送・運搬」が高い。

## 質問① 対象範囲（山形都市圏南西部）の道路利用についてお聞きします。




【図1】主な出発地・目的地

～凡例～
①→①：山形中心市街地内移動
①→②：山形中心市街地⇒山形中心市街地外へ移動
②→①：山形中心市街地外⇒山形中心市街地へ移動
②→②：山形中心市街地外移動




【図2】主な出発地・目的地別における利用目的の集計

# 2-5. 事業者への意見聴取の結果（地域課題）①

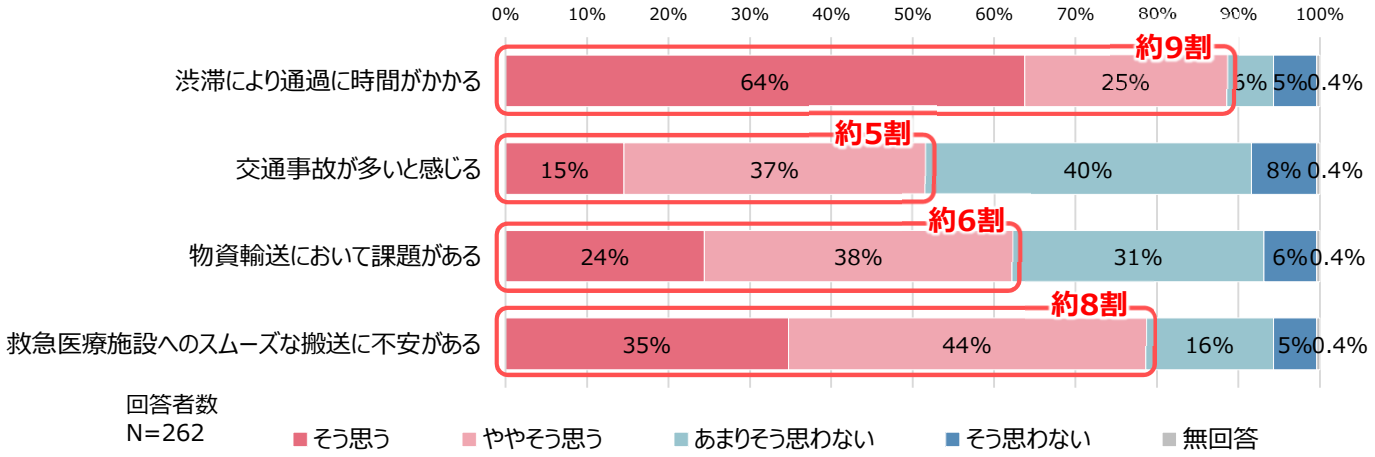


◆「渋滞により通過に時間がかかる」は、約9割が課題だと感じている。
◆利用頻度別に見ると、「渋滞により通過に時間がかかる」は、週1回以上の利用で課題の認識が高い。

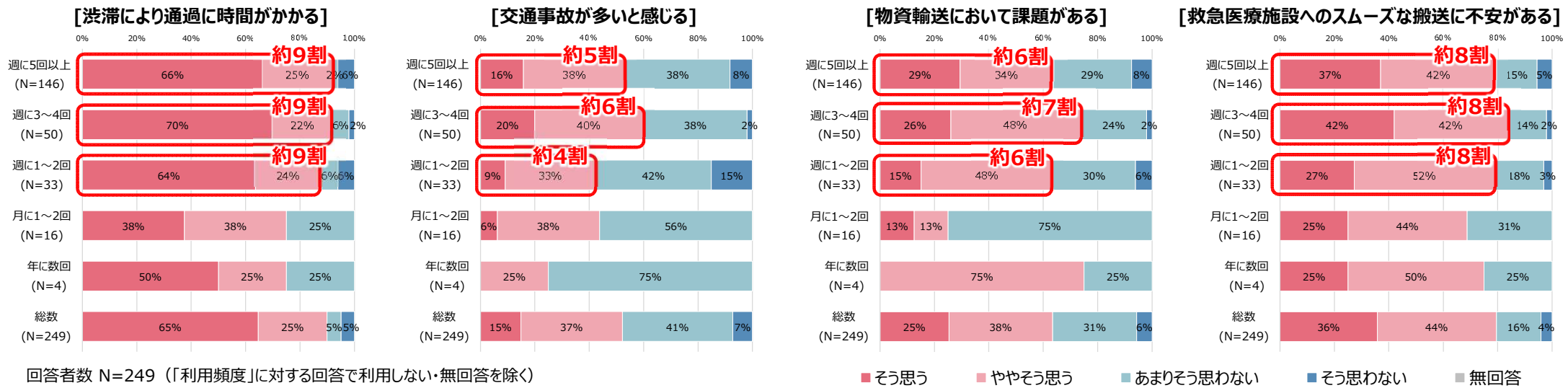
質問② 対象範囲（山形都市圏南西部）の課題についてお聞きします。

質問②-(1)
以下のA～Dの各項目について、あてはまる番号1つに〇を付けてください。

A. 渋滞により通過に時間がかかる
B. 交通事故が多いと感じる
C. 物資輸送において課題がある
D. 救急医療施設へのスムーズな搬送に不安がある




【図1】地域の課題



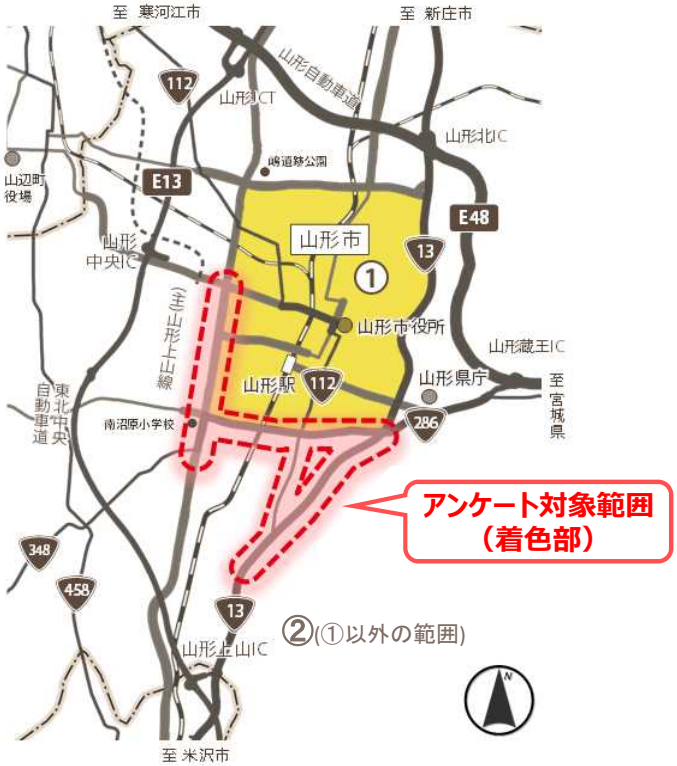

回答者数 N=249（「利用頻度」に対する回答で利用しない・無回答を除く）

【図2】利用頻度別における課題の集計

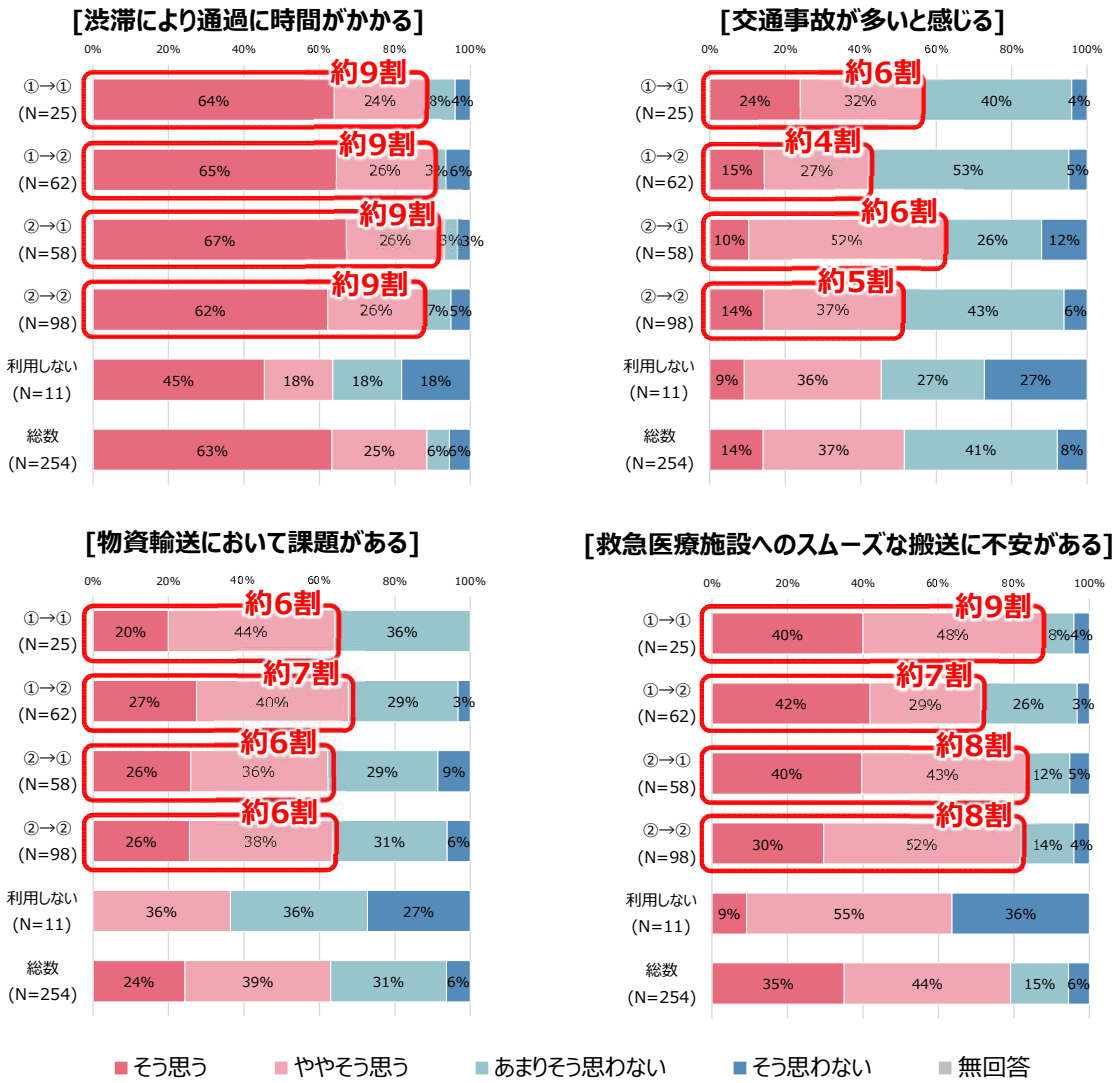
# 2-5. 事業者への意見聴取の結果（地域課題）②

◆出発地・目的地による地域の課題認識では、住民アンケートの結果（P16）と同様、大きな差は生じなかった。

質問②　対象範囲（山形都市圏南西部）の課題についてお聞きします。




～凡例～
①→①：山形中心市街地内移動
①→②：山形中心市街地⇒山形中心市街地外へ移動
②→①：山形中心市街地外⇒山形中心市街地へ移動
②→②：山形中心市街地外移動




【図1】主な出発地・目的地別における課題の集計

回答者数 N=254（図1の「主な出発地・目的地」に対する無回答を除く）

# 2-5. 事業者への意見聴取の結果（地域課題）③



◆設定した地域課題においては「渋滞」に係る意見が最も多く、約5割を占めており、「右折車によって塞がれ、後続車の直進車両が進めないことによる渋滞の発生」等の意見をいただいた。
◆その他の意見として、事故については「危険箇所が多い」等の意見、産業については「トラック同士の並走が困難な箇所がある」等の意見、救急搬送については「緊急車両が通り抜けしづらい」等の意見があった。

質問②-(2) ②-(1)で提示した課題以外に、課題だと感じていることを具体的に記載してください。

【表1】課題に対する自由意見

| 分類 | | 主な意見 |
|---|---|---|
| 地域課題<br>【94件】 | 渋滞<br>【48件】 | ・右折レーンが短く、右折車によって直進レーンが塞がれ、後続の直進車両が進めなくなる交差点がある。<br>・国道112号の山形駅の通りから国道13号に抜ける道路が渋滞する。<br>・右左折時に信号がない交差点が多く、渋滞箇所が続く事に課題を感じる。<br>・市内を走る南北の路線が混雑。 |
| | 事故<br>【44件】 | ・通勤、生活道路として活用しているが、渋滞や危険箇所が多い。<br>・隣車線の車との距離が近く、圧迫感があるため、追い抜きの際に緊張で疲れる。<br>・渋滞迂回のため、居住区間の道を走る車が多い。 |
| | 産業<br>【1件】 | ・トラック同士の並走が困難な箇所がある。 |
| | 救急搬送<br>【1件】 | ・緊急車両が通り抜けしづらい。 |
| その他<br>【32件】 | 整備への要望<br>【11件】 | ・車線数が少ないことが課題。<br>・右折用車線の延伸を望む。<br>・道路を横断する人や合流する車が国道13号を渋滞させることなくスムーズに通行できる手段の検討を望む。 |
| | その他<br>【21件】 | ・幹線道路なのに冬期間の除雪等が煩雑である。<br>・水はけが良くないため、豪雨時に道路が川のようになる。災害対策上問題がある。<br>・右折レーン未設置の交差点では、右折を禁止にしてほしい。 |

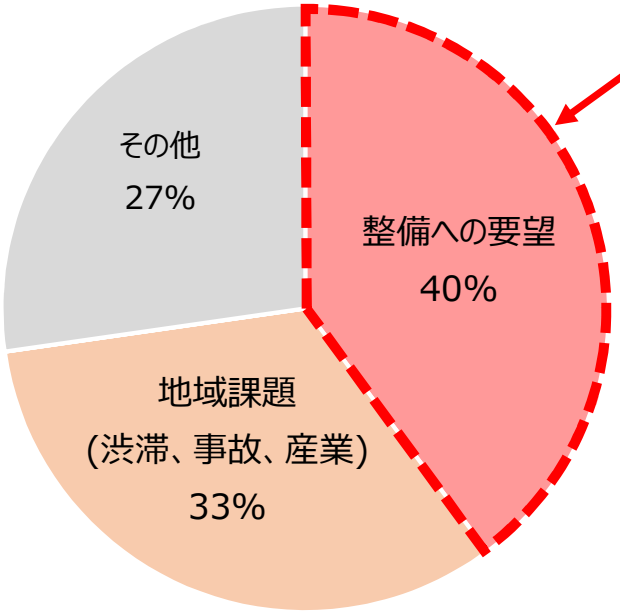
※複数の分類に該当する意見があるため、自由意見回答者数と回答数合計は一致しない。

# 2-5. 事業者への意見聴取の結果（意見・要望）



◆対象範囲への意見については、提示した「地域課題」への意見の他、「整備への要望」に関する意見が約4割を占めている。地域課題についての意見は、質問②-(2)（P. 23）の回答と同じ傾向であった。
◆「整備への要望」について、新規道路・拡幅等については「市街地の西側に幹線道路が必要」、「信号を少なくしてほしい」等の意見、その他については「交差点以外では右折できないようにしてほしい」等の意見があった。

質問③　その他、対象範囲におけるご意見やご要望がございましたらご自由に記載してください。




【図1】自由意見の回答内訳（88件）

【表1】課題に対する自由意見

| 分類 | | 主な意見 |
|---|---|---|
| 整備への要望【35件】 | 新規道路・拡幅等【11件】 | ・市街地の西側に片側2車線道路を1本通してほしい。<br>・対象範囲の西側に1本道路があれば解消できるのでは。<br>・信号を少なく、道路幅も広くしてほしい。<br>・冬道にも対応する道路幅を希望、降雪時の走行しやすい除雪をしてほしい。<br>・信号が多い道路があり、西側に充実した幹線道路が必要。<br>・幹線道路のため、信号の少ない道路整備が必要。 |
| | その他【24件】 | ・交差点以外では、右折ができないようにしてほしい。<br>・対象範囲の渋滞を解消してほしい。<br>・右折専用の矢印信号を長くしてほしい。 |
| その他【24件】 | | ・冬期は、山形市内全体で歩道や路側帯に雪が残り道路幅が狭く危険だと感じる。<br>・朝7時までに除雪を速やかに実施してほしい。<br>・大雨が降った際は、道路に水が溜まり川の中を車で走っているようだった。 |

※地域課題（渋滞、事故、産業）の意見数：29件
※地域課題4項目以外の意見数：59件

※複数の分類に該当する意見があるため、
自由意見回答者数と回答数合計は一致しない。

# 2-6. 関係団体ヒアリングの結果



◆ 渋滞については、評価対象範囲の慢性的な渋滞、道路構造や沿道施設出入りによる渋滞等の意見があった。
◆ 事故については、沿道施設への出入りや道路構造に起因する事故危険性の指摘等の意見があった。
◆ 産業については、大型車の通行しやすさを求める意見があった。
◆ 救急については、渋滞発生時は救急車が乗用車を追い越しできない等の意見があった。

【表1】関係機関による主な意見（回答団体数28団体）

| 分類 | | 主な意見 |
|---|---|---|
| 地域課題 | 渋滞 | ・国道112号、国道286号、（主）山形上山線等の沿線に商業施設が立地する幹線道路は、**慢性的な渋滞が発生**（自治体）<br>・国道112号は**路線バスルートであるが、朝晩は混雑**している。住宅地であり需要もあることから、別のルートとすることは難しい。（バス事業者）<br>・（主）山形上山線は通勤時間帯に渋滞が発生しやすいため、東側の**通学路として利用されている道路が迂回路として利用**されている。西側の農道も迂回路として利用されており、農業車両との交錯が問題。（自治体）<br>・**観光利用と一般の生活利用の混在する路線**であるため、平日の観光バスなどは渋滞の影響を受け**計画通りに運行できなくなる**。（観光団体）<br>・**慢性的な渋滞**が市街地を横断若しくは縦断する観光客にとって**大きなストレス**。**短時間で市街地を通過できる仕組み作り**が課題。（自治体）<br>・右折車線があっても**右折レーンをはみ出す**ので待たなければならない。（製造業）<br>・交差点ではない場所で**店舗出入りの右折車**があり、どこで右折車がいるか分からないので、時間が読めない。（タクシー） |
| | 事故 | ・国道286号沿線及び（主）山形上山線は小売店や飲食店が多く、店舗敷地への出入りや車線変更の機会が多いため、**事故防止のための方策が必要**。（自治体）<br>・国道286号・国道348号・（主）山形上山線は**無理に4車線にしており幅員が狭い**ため、路肩が狭くバイクを追い抜く時が**接触しそうで怖い**。（タクシー）<br>・（主）山形上山線は交通量が多く危ないので、**通学路にはなるべく指定していない**。（教育機関）<br>・対象範囲の路線については、主道路も従道路も交通量が多いため、**信号の調整は限界**がある。（警察） |
| | 産業 | ・市街地を横断する国道286号、国道348号の狭さや信号が多いことが、**IC・各工業団地間の円滑な物流を妨げる**要因となっている。（自治体）<br>・機械部品は重量物のため輸送は大型トラックが多く、利用頻度の高い（主）山形上山線も国道458号も道幅が狭いので**交通障害や事故誘因が懸念**される。（経済団体）<br>・**幅員が狭く10ｔ車は白線上を走らざるを得ない**。（製造業）<br>・（主）山形上山線の**渋滞で大型トラックの出入りが負担**。（農業団体） |
| | 救急搬送 | ・防災、医療の面からも、**緊急時にもスムーズに利用できる道路**が必要。（自治体）<br>・国道286号、国道348号、（主）山形上山線が渋滞している時間帯は**乗用車2台の間をすり抜けられず支障**をきたしており、これらの路線を避けている。（消防） |
| その他 | 整備への要望 | ・山形市内の**新たな南北線の整備**による渋滞の緩和。（自治体）<br>・東日本大震災等の災害時では支援物資輸送が重要だったので、**大型トラック等が通れる新たな道路整備**はこの地域に必要だと思います。（商工会） |

# 2-7. 地域の意見聴取（第1回）の結果のとりまとめ



## 評価対象範囲の交通特性

・生活交通と物流交通の混在。

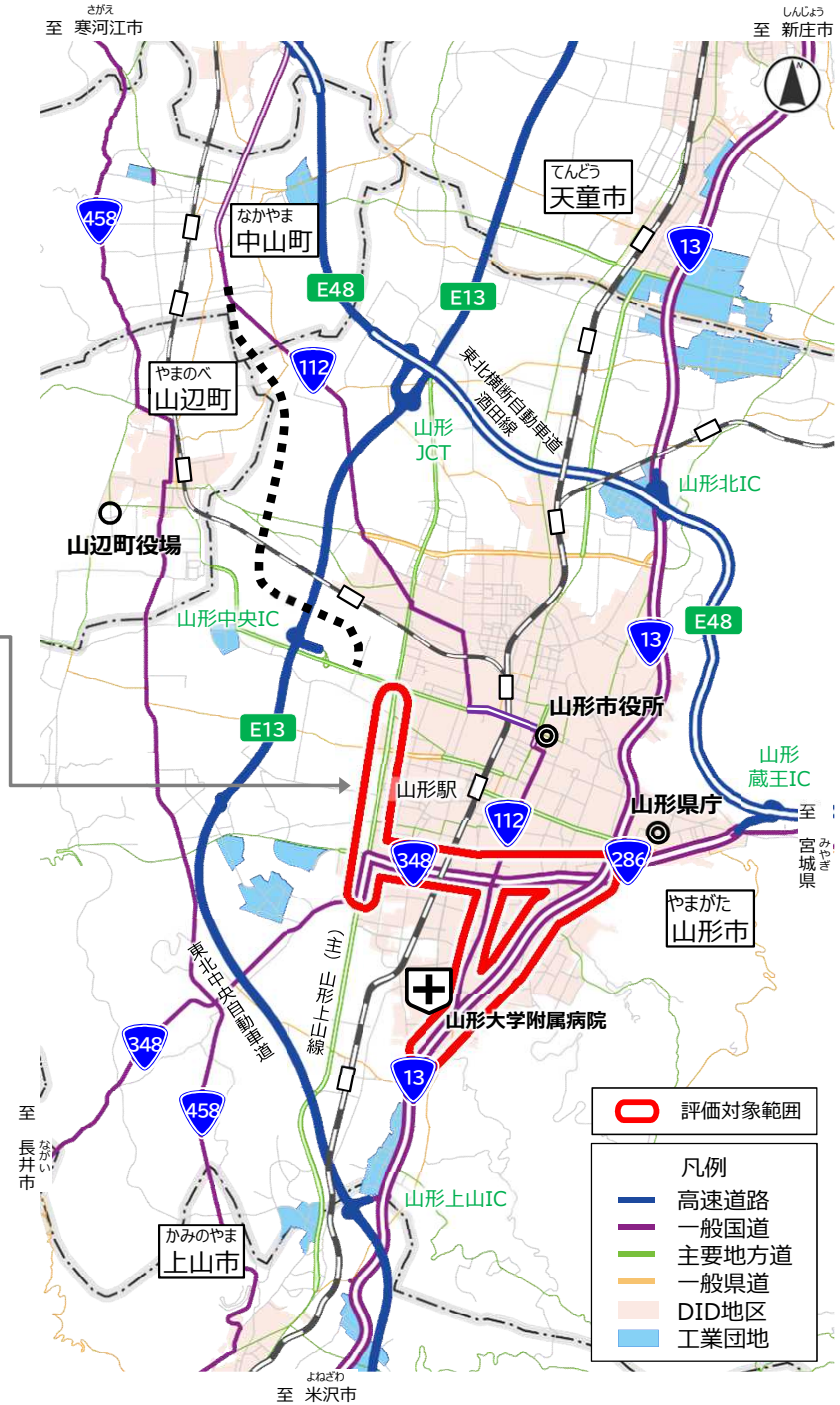
【写真1】(主)山形上山線の状況

## 渋滞の要因

・山形市街地は通過車両による渋滞が著しい。
・信号交差点の間隔が短く、交通量が多いため、スムーズな通行を阻害。
・右折レーン未設置・右折レーン長不足による直進阻害が発生し、渋滞の一因になっている。

## 渋滞による影響

・渋滞を避け、迂回をしている。
・渋滞のため、朝は早くでなければならない。
・慢性的な渋滞が大きなストレス。




【図1】意見聴取結果（課題図）

## 走行環境の安全性

・渋滞による事故が多発。
・トラック等の大型車も多く、スピードを出して走るため、安全面に不安。
・隣の車線の車との距離が近くて圧迫感があり、追い抜きの際の精神的な負担が大きい。

## 歩行者の安全性

・車両が生活道路や農道等に流入し、児童が危険。

## 物流への影響

・輸送は大型トラックが多く、交通障害や事故誘因が懸念。
・車線が狭く、トラック同士の並走が困難な箇所がある。
・道幅の狭さや信号の多さがIC・各工業団地間の円滑な物流を妨げる要因となっている。

## 救急搬送の支障

・救急搬送時、評価対象範囲が渋滞している場合は別ルートを迂回せざるを得ない。
・渋滞により救急車両が進めない。

## 救急搬送の迅速性

・救急車両の通過時間や到着時刻の遅れが不安。
・防災、医療の面からも、緊急時にもスムーズに利用できる道路が必要。

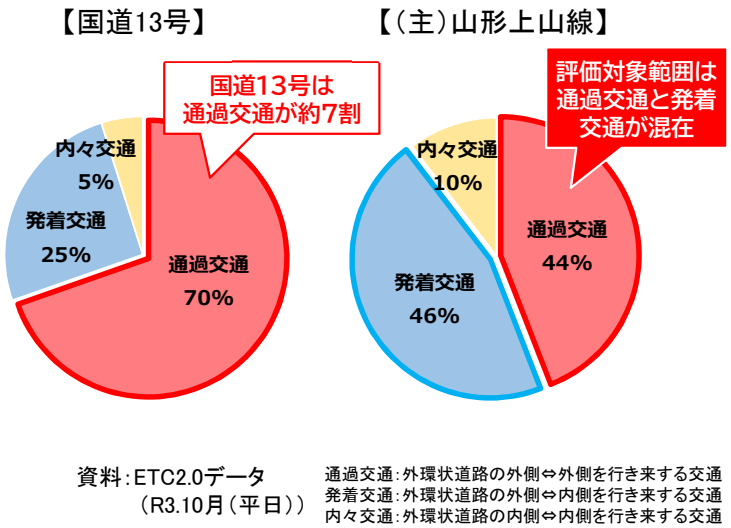
# 2-8. 意見聴取を踏まえた課題の再整理（渋滞・事故）



◆ 評価対象範囲は通過交通と発着交通が混在しており、点在する信号交差点での右折車両や沿道施設へ入る右左折車両が多く、直進車両が速度低下を起こしやすい。
◆ 評価対象範囲は渋滞に起因する追突事故が多いため、交通安全面においても渋滞対策が課題。

資料：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査

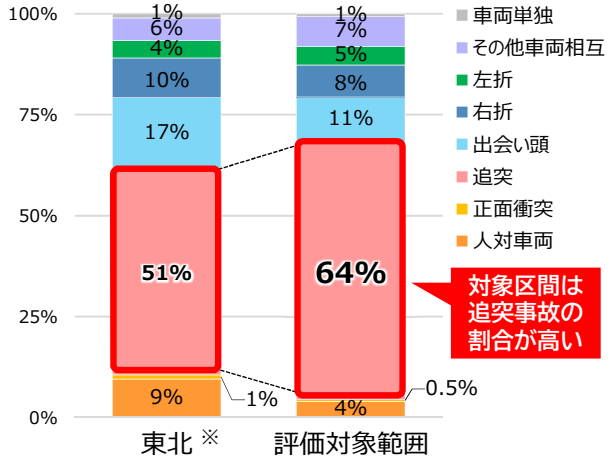
【図1】評価対象範囲の信号交差点・主要渋滞箇所




資料：ETC2.0データ（R3.10月（平日））

通過交通：外環状道路の外側⇔外側を行き来する交通
発着交通：外環状道路の外側⇔内側を行き来する交通
内々交通：外環状道路の内側⇔内側を行き来する交通

【図2】交通の内訳




資料：イタルダデータ（H29-R2）
※東北地方の「国」または「県」管理道路（自専道を除く）市街地区間

【図3】事故類型の比較

【写真①】国道112号の渋滞状況

【写真②】(主)山形上山線の渋滞状況

## 渋滞・事故に関する道路利用者の声

- 評価対象範囲の商業施設が立地する幹線道路は、慢性的な渋滞が発生している。
- 右折レーンが十分な幅員を確保できておらず、乗用車も右折レーンからはみ出してしまう。
- 路側帯が狭く、バイクや自転車等との接触が危険。
- 山形市を通過し広域的に移動する車両と山形市内を移動する車両の棲み分けにより、移動の速達性・安全性を確保できるような道路の整備を期待する。

資料：R4.3 関係機関ヒアリング結果

【図4】道路利用者の声

## 交通管理者の声

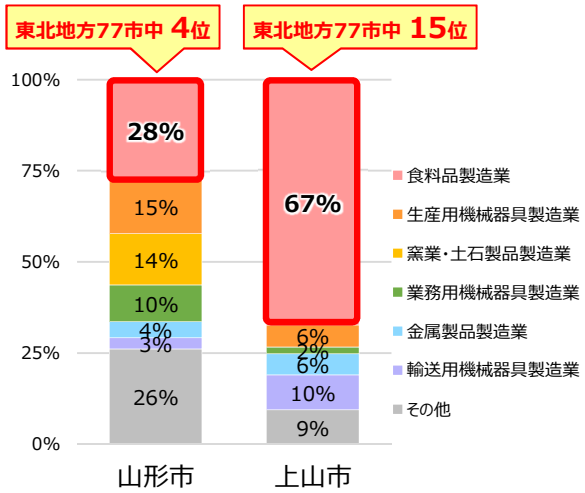
- 対象範囲の路線は、主道路も従道路も交通量が多いため信号の調整は限界があり、どうしようもない。
- 対象範囲の路線の渋滞は追突事故の要因の１つ。市街地で信号交差点が連続するため信号交差点での減速・停止により渋滞が発生しやすく、そのため追突事故も起きやすくなっていると考えられる。

資料：R4.3 ヒアリング結果

【図5】交通管理者の声

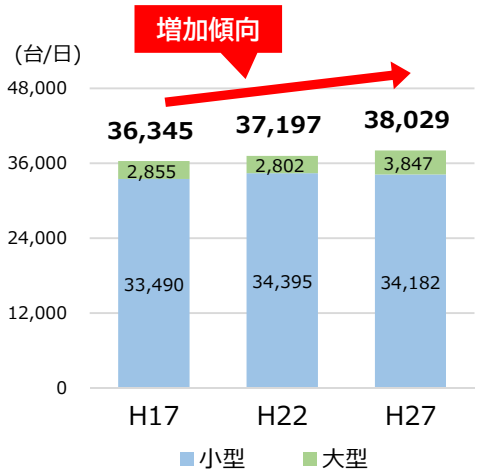
# 2-8. 意見聴取を踏まえた課題の再整理（産業）

◆ 山形市・上山市の製造業は、食料品製造業が製造品出荷額の1位を占め地域を代表する産業。
◆ 山形中央IC付近への物流拠点開設が進み、（主）山形上山線の物流での利用が増加。
◆ しかし、（主）山形上山線は交通量増加に伴う速度低下が生じており、速達性・走行性の確保が課題。



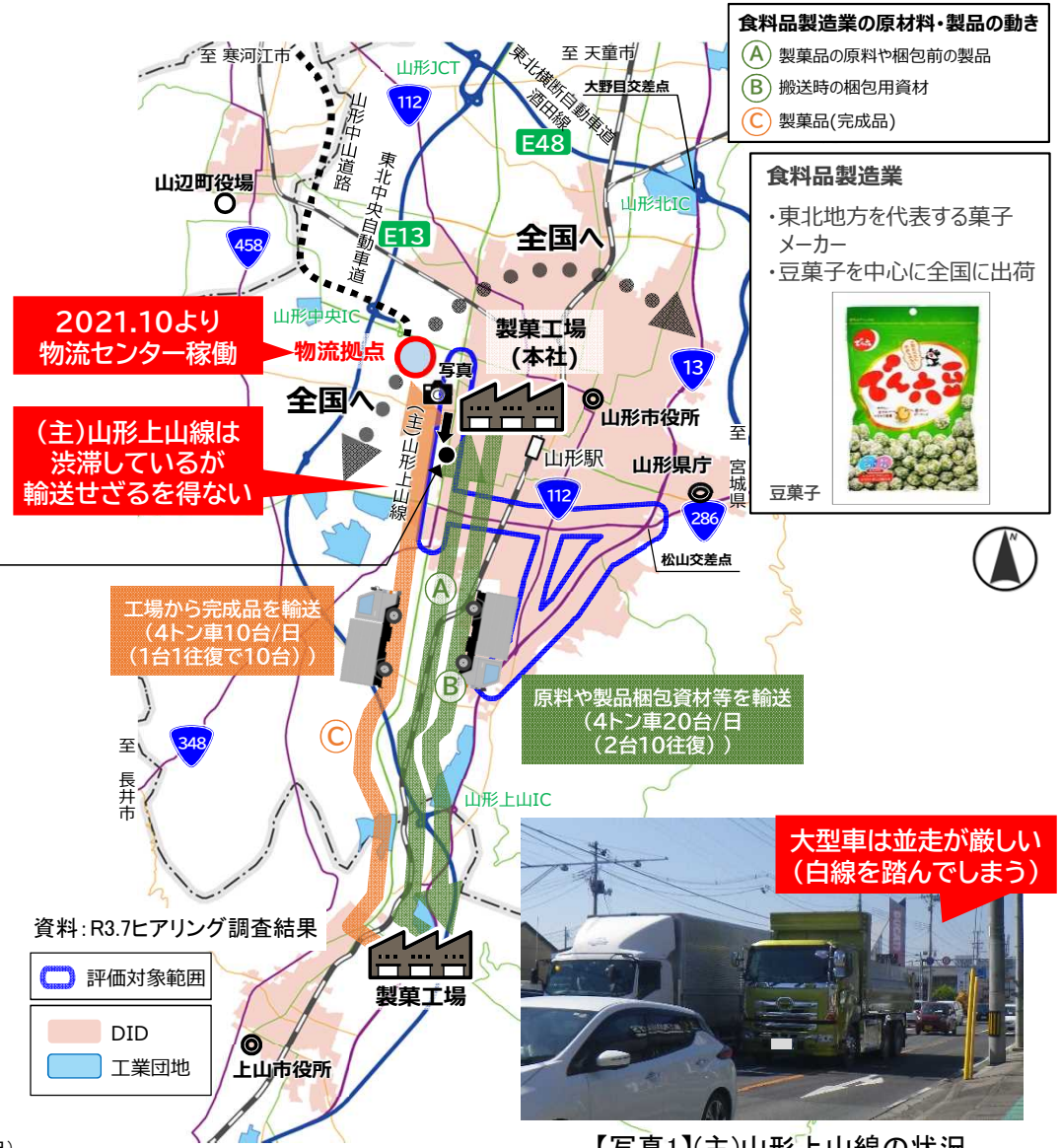

資料：工業統計(R1実測値) ※非公表を除く

【図1】業種別製造品出荷額




資料：全国道路・街路交通情勢調査

【図3】(主)山形上山線の交通量



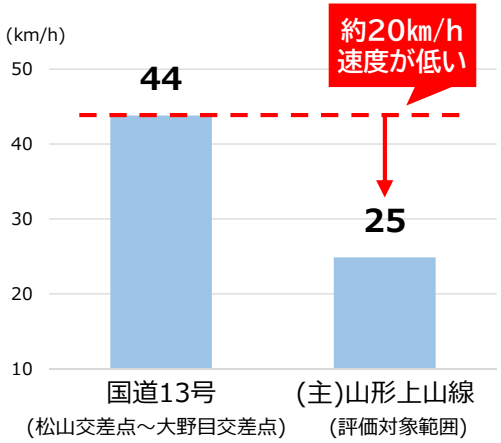

【図3】(主)山形上山線の交通量

## 食料品製造業者の声

- 2021年10月より<u>山形中央IC付近に物流センターを開設</u>したので、（主）山形上山線等を10トン車で利用する頻度が増加しています。
- （主）山形上山線は、道路幅が狭いため接触の危険性があり、無理な右折レーンの設置がさらに<u>事故の危険性</u>を増しています。

資料：R4.3 ヒアリング調査結果

【図2】食品関連企業の声




資料：ETC2.0データ（通常期：R3.10月（平日））

【図4】（主）山形上山線の通常期速度



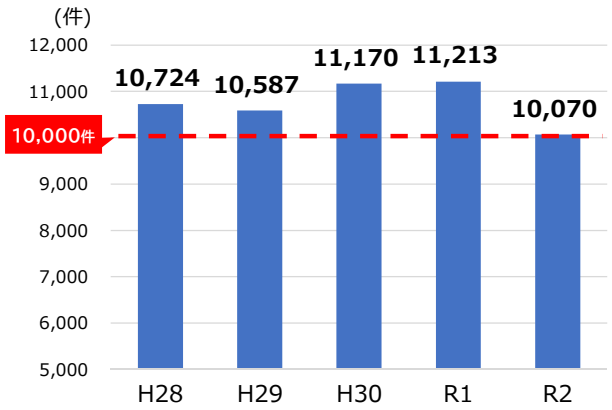

【写真1】(主)山形上山線の状況

【図5】食品製造業に関する原材料や製品の輸送ルートの例

# 2-8. 意見聴取を踏まえた課題の再整理（救急搬送）

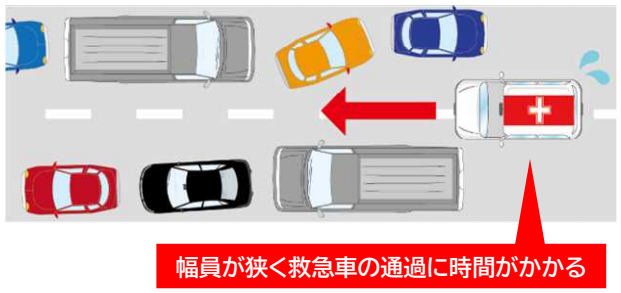


◆ 山形市消防管内の救急搬送件数は年間1万件以上あるが、救急搬送ルートとなる評価対象範囲の路線は混雑が発生しており、早急な搬送を阻害。
◆ 混雑時間帯は予め迂回ルートを利用せざるを得ないため、時間帯に関わらない速達性の確保が課題。

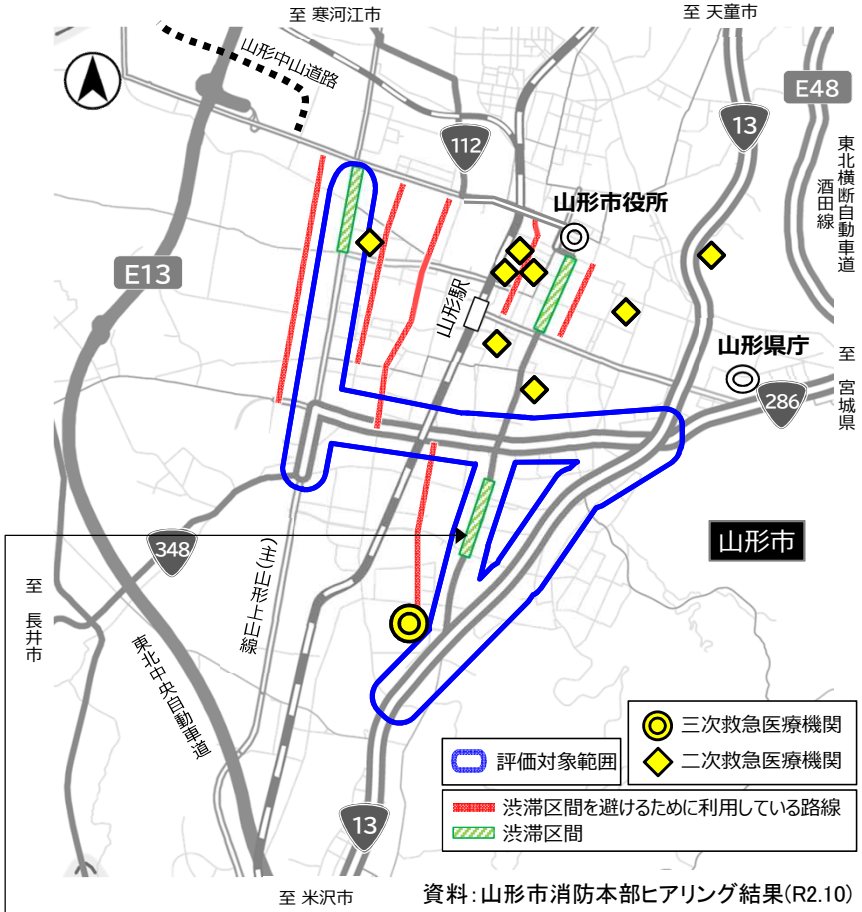



資料：令和2年山形市統計書　※山辺町・中山町を含む

【図1】山形市の救急搬送の推移




【図2】横断図（単路部）




資料：山形市消防本部ヒアリング結果(R2.10)

【図3】救急搬送時に渋滞回避のため利用する路線（山形市消防本部）

【写真1】国道112号の救急車の走行状況

## 市民から挙がる不安の声

- 1番気になるのは救急車などの緊急車両がスムーズに通れないのをよく見る事だ。実際家族の救急搬送に同乗した時は本当にイライラした。
- 国道112号は道路の幅が狭いから、救急車の音が聞こえてくると、止まるまで前後左右など確認しないとすぐ止まれないので大変です。
- 国道286号は片側2車線だが道路幅が狭い。緊急車両が来ても寄せることができない。
- （主）山形上山線をもっと幅広くしてほしい。救急車等が通れない現場を見ました。残念です。
- （主）山形上山線があまりにびっしり混んでいたので西の農道を南進していたら、サイレンを鳴らした救急車両に後をついてこられたのでびっくりした。

資料：地域の意見聴取（第1回）
住民等への意見聴取の結果より

## 救急隊員の声（山形市消防本部）

- （主）山形上山線は道路幅員が狭いため、渋滞により早急な搬送が困難な場合がある。山形市内の中で、渋滞時の交通が最も困難となる道路である。
- （主）山形上山線の迂回ルートとして東側の道路を搬送することが多い。西側の道路は、現場の場所により、現場に向かう時に使う。

資料：山形市消防本部ヒアリング結果(R4.3)

# 2-8. 意見聴取を踏まえた課題の再整理（道路交通・地域の課題とその原因）



【表1】道路交通・地域の課題とその原因（第1回委員会提示案に意見聴取内容を赤字で反映）

| | 課　　題 | 原　因 | 政策目標（素案） |
|---|---|---|---|
| 渋滞 | ○交通が集中し、速度低下が発生<br>・旅行速度の3割が20km/h以下<br>・主要渋滞箇所が多数存在<br>・山形中心市街地への通過交通の存在 | ○交差点密度が高い<br>○沿道の出入り交通が多い<br>○通過交通と発着交通の混在 | 必要な交通容量の確保 |
| 事故 | ○死傷事故が多発<br>・東北平均に対し交差点部で1.4倍、単路部で2.5倍<br>・単路部では追突事故の割合が8割 | ○渋滞による加減速の多さ | 安全な交通環境の確保 |
| 産業 | ○輸送時間の増加やドライバーへの負担増加<br>・幹線道路の渋滞で輸送に時間を要す<br>・通学路を含む幅員の狭い路線で慎重な運転が必要 | ○生活交通と物流交通の混在<br>○幹線道路の混雑 | 円滑な物流ルートの確保 |
| 救急搬送 | ○救急搬送時間の増加や救急搬送ルートの変更<br>・幹線道路以外のため、交差点が多く速度低下<br>・幅員が狭く車両の追い越しが困難 | ○幹線道路の混雑<br>○幅員不足（車線や路肩幅員等） | 安定した救急搬送ルートの確保 |

# 3. 政策目標の設定

# 3-1. 政策目標の設定



◆ 地域への意見聴取（第１回）の結果から、「必要な交通容量の確保」「安全な交通環境の確保」「円滑な物流ルートの確保」「安定した救急搬送ルートの確保」の４項目を政策目標とする。

| | 渋滞 | 事故 | 産業 | 救急搬送 |
|---|---|---|---|---|
| 道路交通・地域の課題 | ○交通が集中し、速度低下が発生 | ○死傷事故(追突事故)が多発 | ○輸送時間の増加やドライバーへの負担増加 | ○救急搬送時間の増加や救急搬送ルートの変更 |
| 地域の将来像 | 【山形市発展計画2025】<br>◆安全で利便性の高い道路ネットワークの構築<br>・市民の安全・安心、利便性の確保や 交通の円滑化等を図るため、地域の状況や課題等を踏まえながら適切な道路整備や改良等を進めていきます | 【山形市発展計画2025】<br>◆安全で利便性の高い道路ネットワークの構築<br>・市民の安全・安心、利便性の確保や 交通の円滑化等を図るため、地域の状況や課題等を踏まえながら適切な道路整備や改良等を進めていきます | 【第4次山形県総合発展計画】<br>◆「村山」の強みを活かし、交流や連携を基盤に持続的に発展する産業の形成<br>【山形市工業振興計画】<br>◆新たな交流や連携による企業活動の活性化<br>【第5次山辺町総合計画】<br>◆生活活動・経済活動に即した広域連携の展開 | 【第4次山形県総合発展計画】<br>◆質の高い医療の提供<br>【第2期 上山市都市マスタープラン】<br>◆必要な医療機関へのアクセスを支えるネットワークや交通手段の確保を検討<br>【第6次中山町総合発展計画】<br>◆広域連携による協力体制を含め、地域医療機能、救急医療体制の維持を図る |
| 住民や事業者への意見聴取結果 | ・住民の約8割、事業者の約9割が課題と認識<br>・「通過車両による渋滞が発生」等の意見が寄せられた。<br>・「右折による直進阻害が発生」等の意見が寄せられた。<br>・「信号交差点の間隔が短く、交通量が多いため、スムーズな通行を阻害」等の意見が寄せられた。 | ・住民、事業者ともに約5割が課題と認識<br>・「渋滞による事故が多発」等の意見が寄せられた。<br>・「車両が生活道路や農道等に流入し、児童が危険」等の意見が寄せられた。 | ・住民、事業者ともに6割が課題と認識<br>・「交通渋滞が円滑な物資輸送に支障をきたしている」等の意見が寄せられた。<br>・「生活交通と物流交通が混在している」等の意見が寄せられた。<br>・「信号の多さや道幅の狭さがIC・各工業団地間の円滑な物流を妨げる要因」等の意見が寄せられた。 | ・住民、事業者ともに8割が課題と認識<br>・「救急車両の通過時間や到着時刻の遅れが不安」等の意見が寄せられた。<br>・「救急搬送時、渋滞により別ルートを迂回せざるを得ない」等の意見が寄せられた。 |

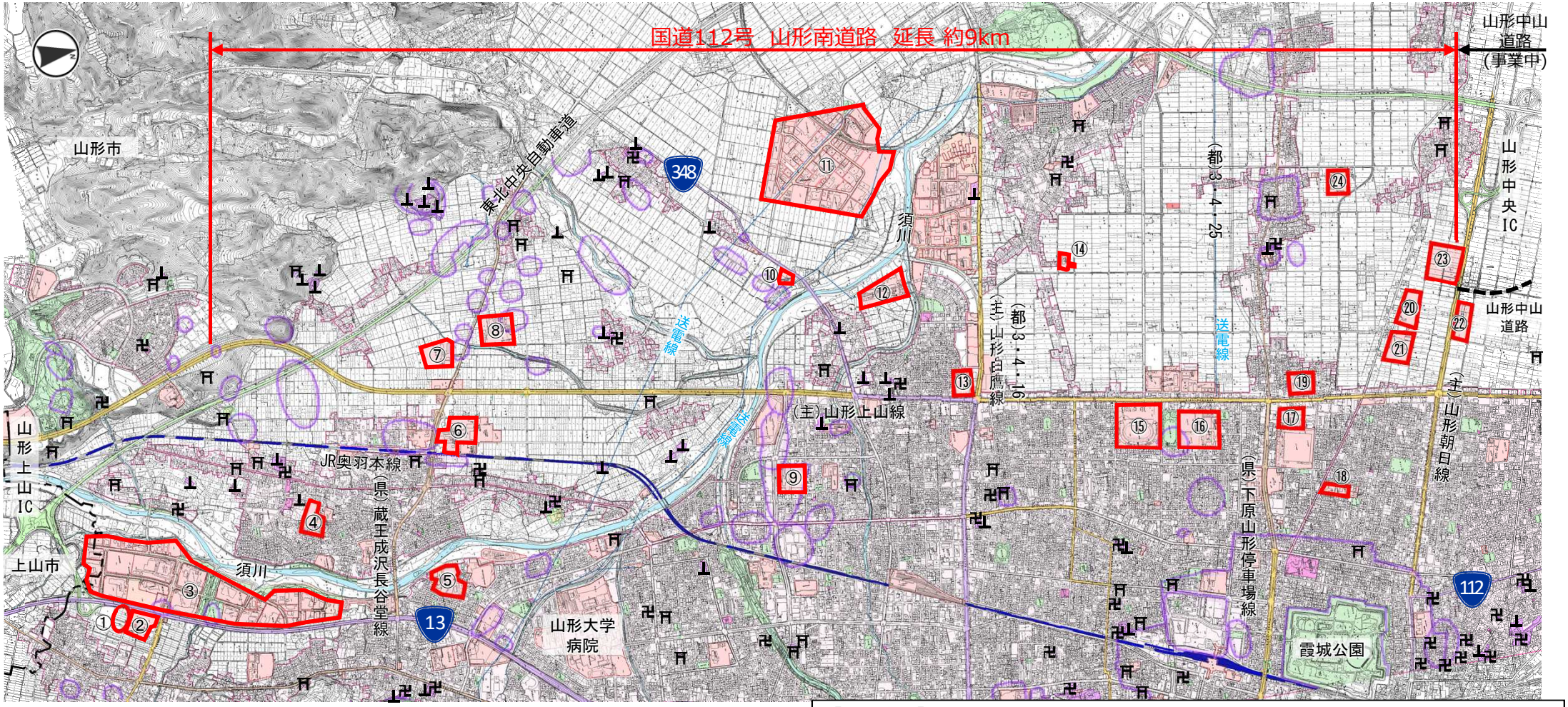
| 政策目標 | 必要な交通容量の確保 | 安全な交通環境の確保 | 円滑な物流ルートの確保 | 安定した救急搬送ルートの確保 |
|---|---|---|---|---|

# ４. 対応方針（ルート帯案）の検討

# 4-1. 対策案のコントロールポイントの考え方（施設等）



◆ 工業団地や大規模事業所、公共施設、集落等への影響を踏まえ下記のとおりコントロールポイントを設定。




【凡例】

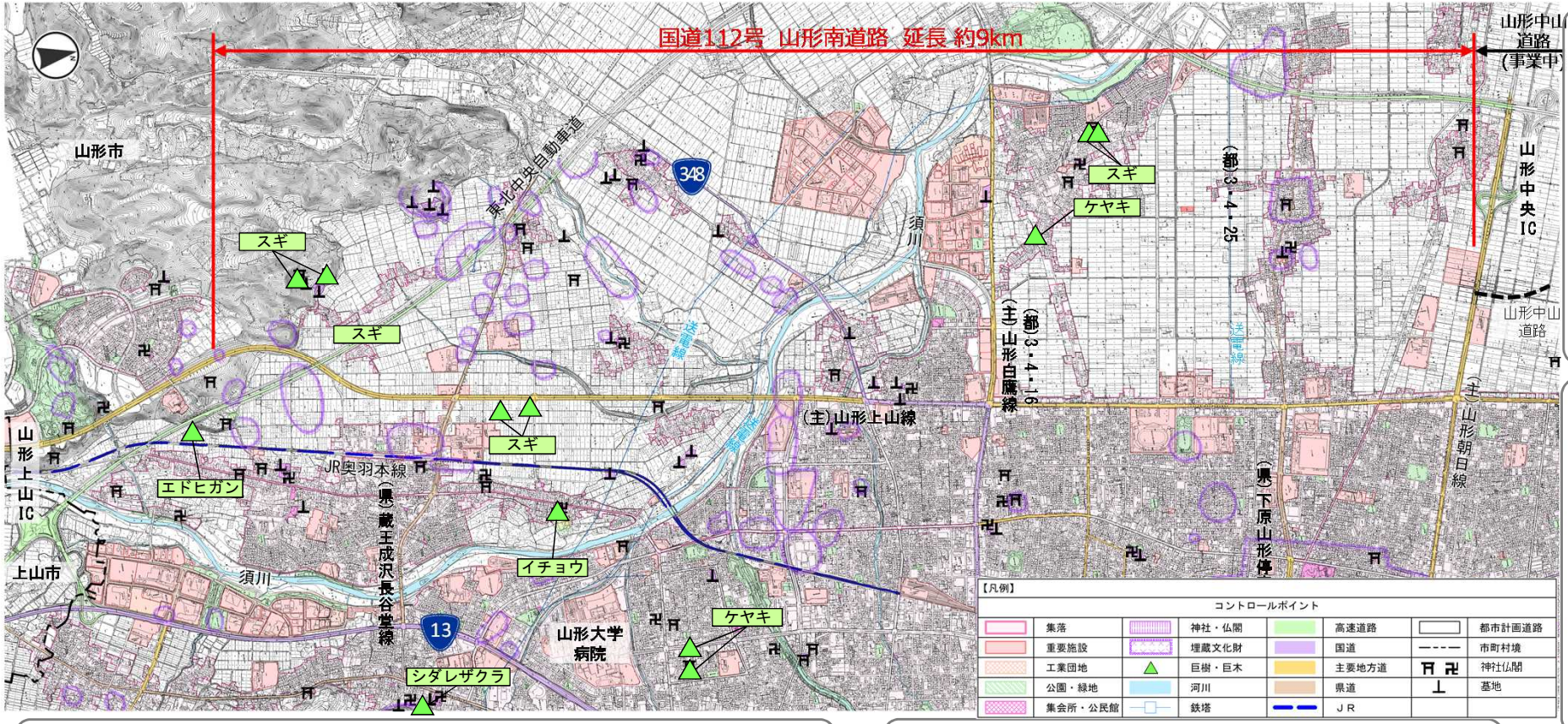
| コントロールポイント | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 集落 | | 神社・仏閣 | | 高速道路 | | 都市計画道路 |
| | 重要施設 | | 埋蔵文化財 | | 国道 | | 市町村境 |
| | 工業団地 | | 巨樹・巨木 | | 主要地方道 | | 神社仏閣 |
| | 公園・緑地 | | 河川 | | 県道 | | 墓地 |
| | 集会所・公民館 | | 鉄塔 | | ＪＲ | | |

【主要施設】

①道の駅蔵王（計画）　②山形県観光物産館　③蔵王工業団地　④山形市立南山形小学校
⑤東海大山形高等学校　⑥東北文教大学　⑦山形市立第九中学校
⑧山形県立村山特別支援学校　⑨山形市立第十中学校　⑩山形医療技術専門学校
⑪西部工業団地　⑫工場　⑬山形市立南沼原小学校　⑭温泉施設
⑮山形市あかねヶ丘陸上競技場　⑯山形市立商業高等学校　⑰徳洲会病院
⑱惺山高等学校　⑲山形市立第十小学校　⑳山形学院高等学校 体育館
㉑山形市立第二中学校　㉒山形市西消防署　㉓物流倉庫　㉔山形市立宮浦小学校

# 4-2. 地域に配慮すべき事項（自然環境）

◆ 既往文献から重要な動植物等が分布していることを確認。



**ハチクマ**
・環境省：準絶滅危惧
・山形県：絶滅危惧IB類

タカ目タカ科の猛禽類。本州以北の丘陵地から低山地で繁殖する。夏鳥として渡来、繁殖し、東南アジアで越冬する。

**ハイタカ**
・環境省：準絶滅危惧
・山形県：絶滅危惧IB類

タカ目タカ科の猛禽類。本州以北に分布し、平地から山地の林、農耕地、河川敷に生息する。低山帯の森林中に営巣する。

**ハヤブサ**
・環境省：絶滅危惧Ⅱ類
・山形県：絶滅危惧Ⅱ類

ハヤブサ目ハヤブサ科。北海道から九州北部に至るまで広く分布し、平地から山地の海岸、河口、湖沼、農耕地などに生息。岸壁の岩棚やくぼみに営巣する。

**動物**

■周辺で確認されている重要種

・ハチクマ
（環境省：準絶滅危惧、山形県：絶滅危惧IB類）
・ハイタカ
（環境省：準絶滅危惧、山形県：絶滅危惧IB類）
・ハヤブサ
（環境省：絶滅危惧Ⅱ類、山形県：絶滅危惧Ⅱ類）
・ドジョウ
（環境省：準絶滅危惧）
・ヒガシシマドジョウ
（山形県：準絶滅危惧）
・カジカ
（環境省：準絶滅危惧）
・トラツグミ
（山形県：準絶滅危惧）
・セグロセキレイ
（山形県：絶滅危惧Ⅱ類）

他

（※）冬季調査のみ

**植物**

■周辺で確認されている重要種

・ミズオオバコ
（環境省：絶滅危惧Ⅱ類、山形県：絶滅危惧ⅠB類）
・イヌハギ
（環境省：絶滅危惧Ⅱ類、山形県：絶滅危惧Ⅱ類）
・ヒメミズワラビ
（山形県：絶滅危惧ⅠA類）
・ニオイタデ
（山形県：絶滅危惧Ⅱ類）

他

（※）秋季調査のみ

【資料】
「環境省レッドリスト2020」（令和2年3月　環境省）
「山形県第2次レッドリスト（鳥類）について 2015年度改訂版」（平成27年　山形県）
「山形県第2次レッドリスト（植物編）について 2013年度改訂版」（平成25年　山形県）
「レッドデータブックやまがた2019 山形県の絶滅のおそれのある野生動物」（2019年　山形県）
「環境省 環境アセスメントデータベース（巨樹巨木）」

# 4-3. ルート帯案の検討 ［A案：バイパス案（現道活用案）］

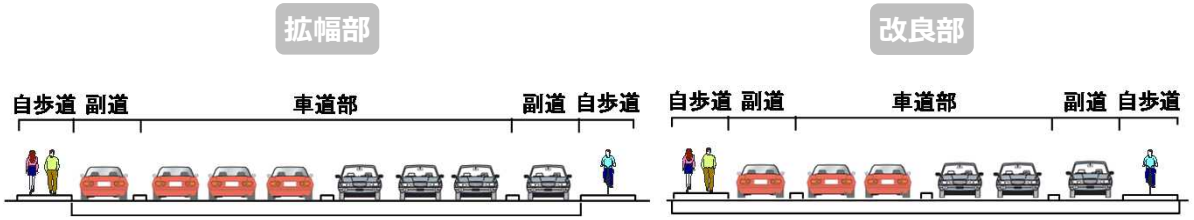


◆ 部分拡幅とすることで現道機能強化を図り、課題解消を図る。

## ■整備概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 延 長 | 約9km | 設計速度 | V=80km/h |
| 構 造 | 土工、橋梁等 | | |
| コスト | 約730～830億円 | | |

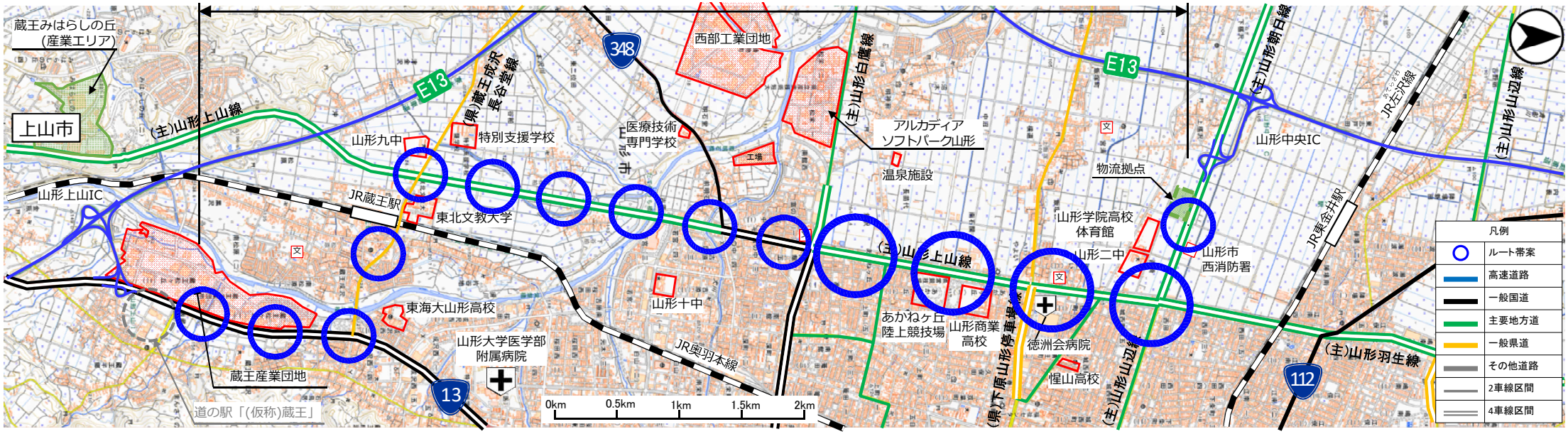
## ■代表断面図（イメージ）




## ■ポイント

- 必要車線数の確保により**交通容量の拡大を図る（渋滞緩和）**
- 4車線相互の交差点部を立体化により、**交通の円滑化を図る（渋滞緩和、事故削減）**
- 市街地部については副道を設置することで、**沿道出入りの影響を抑制し、交通の円滑化を図る(渋滞緩和)**
- 現道活用が基本となるため、**利用交通の分担が出来ない**
- 道路規格に応じた必要幅員を設定し、**円滑な救急搬送ルートを確保する**

**【A案】バイパス案（現道活用案）**



# 4-3. ルート帯案の検討 ［B案：バイパス案（別線整備案）］

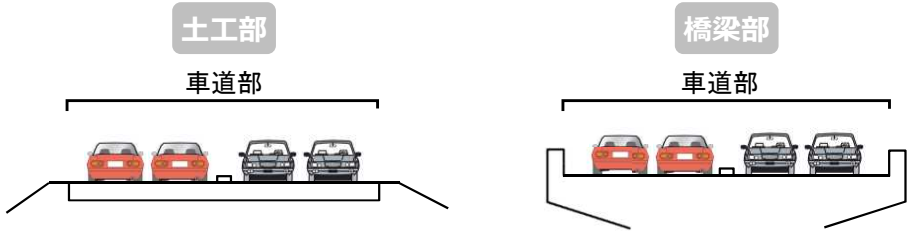


◆ 課題箇所をバイパスすることで交通転換を図り、課題解消を図る。

## ■整備概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 延 長 | 約9km | 設計速度 | V=80km/h |
| 構 造 | 土工、橋梁等 | | |
| コスト | 約620～720億円 | | |

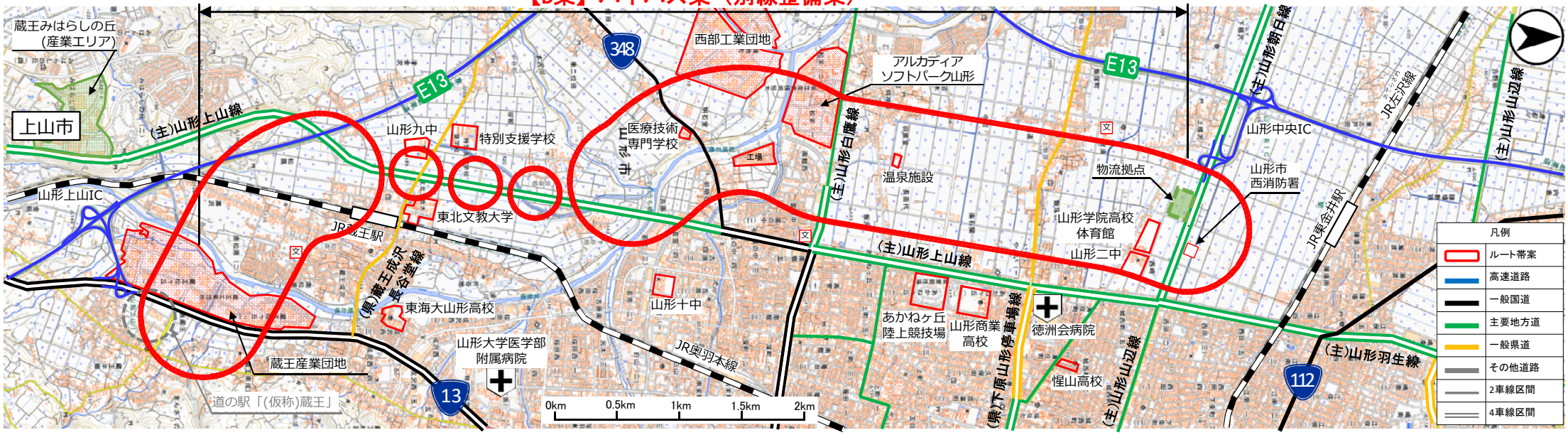
## ■代表断面図（イメージ）




## ■ポイント

- バイパス整備により**交通容量の拡大を図る(渋滞緩和)**
- 現道交通がバイパスに転換することで、**現道交通の円滑化を図る（渋滞緩和）**
- 盛土構造とすることにより、**沿道出入りの影響を抑制し、バイパス交通の円滑化を図る(渋滞緩和)**
- 大部分をバイパス整備とすることにより通過交通と発着交通を分散し、**利用交通の分担を図る**
- 道路規格に応じた必要幅員を設定し、**円滑な救急搬送ルートを確保する**
- 一部現道活用とすることにより、**施設・文化財等への影響を極力回避**

**【B案】バイパス案（別線整備案）**



# 4-4. 評価項目の設定



◆ 政策目標を達成するために求められる機能について整理し、都市圏の課題を踏まえて評価項目を設定。
◆ 配慮すべき事項については、道路整備による影響等を考慮し、評価項目を設定。

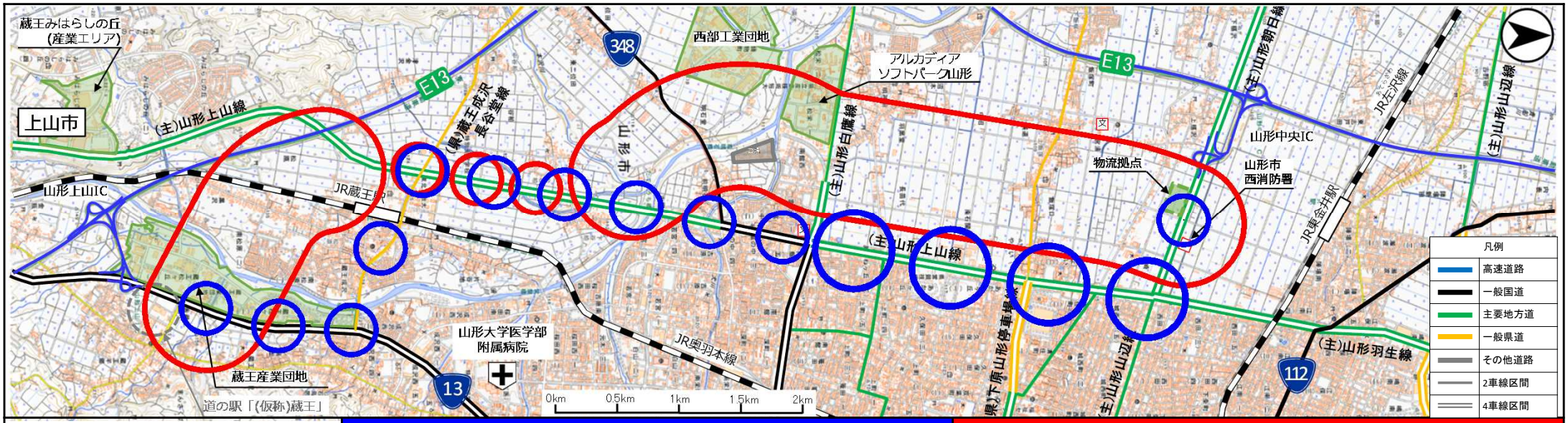
【表1】評価項目の設定

| 課題 | 政策目標 | 求められる機能 | 評価項目 |
|---|---|---|---|
| 渋滞 | 必要な交通容量の確保 | 十分な交通容量を確保することで速度低下を改善し渋滞を緩和する道路 | ・交通容量の確保 |
| 事故 | 安全な交通環境の確保 | 渋滞緩和を図り渋滞に起因する事故を抑制し、走行時の安全性を確保する道路 | ・利用交通の分担<br>・安全な交通環境 |
| 産業 | 円滑な物流ルートの確保 | 主要幹線道路として貨物車が円滑に走行できる物流ルートを確保し、業務の効率化を支援する道路 | ・物流経路の走行性、速達性の向上 |
| 医療 | 安定した<br>救急搬送ルートの確保 | 高次医療施設への安定した走行と速達性の向上を支援する道路 | ・安定した救急搬送ルート |

【表2】配慮すべき事項の設定

| 配慮すべき事項 | 評価項目 |
|---|---|
| 生活環境 | ・沿道環境への影響<br>・道路利用者への影響 |
| 自然環境 | ・地形・自然環境の改変 |
| 工事の影響 | ・現道交通への影響 |
| 経済性 | ・整備に関する費用 |

# 4-5. 対策案の比較




| ルート案 | | | 【A案】バイパス案（現道活用案） | 【B案】バイパス案（別線整備案） |
|---|---|---|---|---|
| ルート概要 | | | 現道課題箇所の改良を行い、現道を活用する案 | バイパス整備を基本とし、一部現道活用により、現道課題箇所を解消する案 |
| 政策目標 | 必要な交通容量の確保 | 交通容量の確保 | ・ 多車線化により、交通容量が確保される | ・ バイパス整備により、交通容量が確保される |
| | 安全な交通環境の確保 | 利用交通の分担 | ・ 現道の多車線化のため、利用交通の混在は解消されない | ・ バイパス整備により、利用交通の分担が図られる |
| | | 安全な交通環境 | ・ 多車線化により現道の渋滞緩和が図られ、渋滞に起因する事故が減少 | ・ バイパス整備により現道の渋滞緩和が図られ、渋滞に起因する事故が減少 |
| | 円滑な物流ルートの確保 | 物流経路の走行性、速達性の向上 | ・ 現道の多車線化により物流ルートの渋滞の緩和を図り、走行性・速達性が向上 | ・ バイパス整備により、現道の渋滞緩和を図り走行性・速達性向上を図るとともに、新たな物流ルートを形成し、産業拠点へのアクセス性が向上 |
| | 安定した救急搬送ルートの確保 | 安定した救急搬送ルート | ・ 救急搬送ルートの渋滞の緩和により、救急搬送の安定性、速達性が向上 | ・ 救急搬送ルートの渋滞の緩和により、救急搬送の安定性、速達性が向上するとともに、救急搬送ルートの選択肢が拡大 |
| その他の配慮事項 | 生活環境 | 沿道環境への影響 | ・ 支障物件数が多いと考えられ、改変範囲が広いため、沿道環境への影響は大きい | ・ 支障物件数が少ないと考えられ、沿道環境への影響は少ない |
| | | 道路利用者への影響 | ・ 市街地部での中央分離帯設置により、出入り制限等の利用形態の改変を伴うため影響は大きい | ・ バイパス区間が主であり、現道活用区間における利用形態の改変の影響は小さい |
| | 自然環境 | 地形・自然環境の改変 | ・ 現道改良のため地形改変が小さく、自然環境への影響は小さい | ・ 一部区間を除くバイパス整備のため、地形改変が発生し自然環境への影響が懸念される |
| | 工事の影響 | 現道交通への影響 | ・ 現道改良のため、施工時に比較的長い区間・長い期間で交通規制が必要となるため、現道交通への影響は大きい | ・ 現道の工事は一部区間のみであるため、施工時の現道交通への影響は小さい |
| | 経済性 | 整備に関する費用 | 約730～830億円 | 約620～720億円 |

※現時点の概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により、金額が変更となる場合がある。

# 5. 第2回地域の意見聴取の方法

# 5-1. 地域の意見聴取(第2回)の内容



◆ 地域の意見聴取(第2回)の内容は、地域や道路交通の課題を解消するため示したルート帯案が、地域のニーズを十分に踏まえたものとなるよう、ルート帯案を検討する際に、重視すべき項目に関する質問を設定。

## 1．地域の意見聴取（第２回）の内容

| 調査項目 | 把握する内容 | 回答方法 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 1．属性 | 年齢、職業 | 選択式（単一回答） | 第１回と同様の意見聴取項目 |
| | 住所、第１回アンケート回答の有無 | 選択式（単一回答） | |
| 2．評価対象範囲の利用状況について | 主な利用目的 | 選択式（単一回答） | 第１回と同様の意見聴取項目 |
| | 利用頻度 | 選択式（単一回答） | |
| | 主な移動手段 | 選択式（単一回答） | |
| 3．ルート帯案を検討する際に重視すべき項目 | どのようなことに重視して計画をすべきか<br>【政策目標】<br>①渋滞緩和　③物流経路の走行性、速達性<br>②交通事故減少　④救急搬送の安定性、速達性の向上<br><br>【配慮すべき事項】<br>⑤生活環境　⑦工事の影響<br>⑥自然環境　⑧経済性 | 選択式（単一回答） | 第２回意見聴取項目 |
| | 重視すべき理由 | 自由回答 | |
| 4．その他 | 他に重視すべき項目 | 自由回答 | 第２回意見聴取項目 |

# 5-2. 地域の意見聴取(第2回)の対象者と方法



## 2. 意見聴取の対象（案）

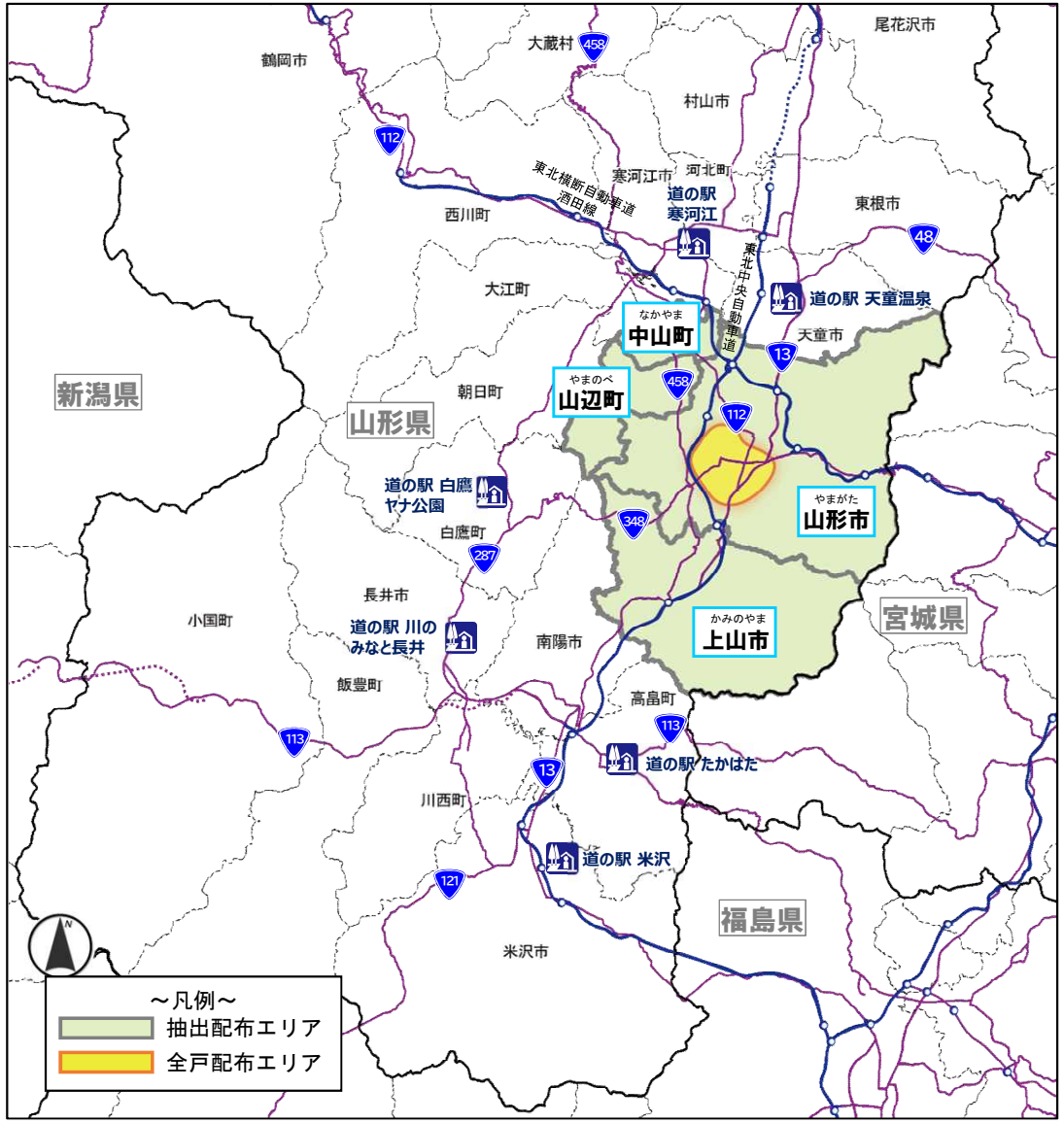
■アンケートによる意見聴取の対象（案）

| 項目 | | 調査対象 | 調査手法・規模 |
|---|---|---|---|
| 地域住民 | 沿線地域 | 山形市（評価対象範囲沿線地域） | 全戸配布　約41,000票 |
| | 周辺地域 | 山形市（評価対象範囲沿線地域外）、上山市、山辺町、中山町 | 抽出配布　約22,000票 |
| 道路利用者 | | 沿線の道路利用者 | ・WEBアンケート（事務所ホームページ）<br>・留置アンケート（14箇所） |
| 事業者 | | 沿線事業者<br>（山形市、上山市、山辺町、中山町の製造業、卸売業、サービス業及びバス・タクシー・トラックの各協会加入事業者） | ・郵送配布、郵送回収<br>494団体 |

■ヒアリング調査による意見聴取の対象（案）

| 項目 | ヒアリング対象 | |
|---|---|---|
| 関係自治体<br>関係団体<br>事業者　等 | ○自治体【5自治体】<br>○観光協会【2団体】<br>○バス協会【1団体】<br>○農業協同組合【2団体】<br>○消防機関【2団体】<br>○教育機関【2校】 | ○経済団体【4団体】<br>○トラック協会【1団体】<br>○タクシー協会【1団体】<br>○警察機関【1団体】<br>○医療機関【2団体】<br>○製造業【5社】 |

■配布範囲




## 3. 地域への意向調査の周知方法

| 情報提供の項目 |
|---|
| 山形県で発行部数の多い新聞にアンケートの協力を呼びかける広告を掲載 |
| 山形河川国道事務所、市町ホームページに意見聴取のバナーを設置し、幅広く広報を実施 |
| 調査対象地域である山形市、上山市、山辺町、中山町で発行される広報誌に広告を掲載 |
| 山形河川国道事務所のSNSを用いて幅広く広報を実施 |

## 4. 意見聴取期間

・１～２ヶ月程度

## 5. 実施主体

・国土交通省　山形河川国道事務所

# 5-3. 地域の意見聴取(第2回)資料案

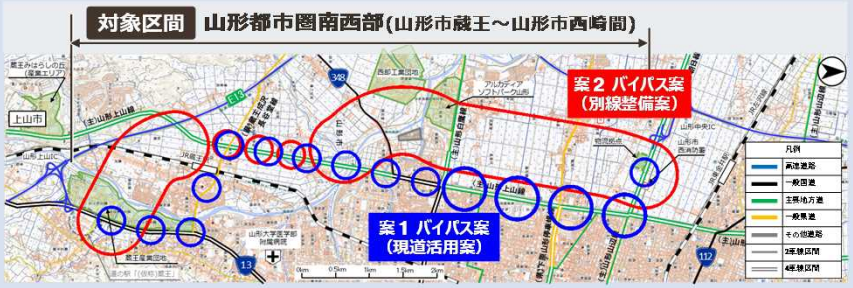
［アンケート票　表面］

## 対応方針（ルート帯）の考え方

**案1　バイパス案（現道活用案）**　県道蔵王成沢長谷堂線と（主）山形上山線を活用する案です。

**案2　バイパス案（別線整備案）**　一部現道活用しつつ、バイパス整備により現道課題箇所を解消する案です。

**対象区間**　山形都市圏南西部(山形市蔵王～山形市西崎間)




| ルート案 | | | 案1 バイパス案（現道活用案） | 案2 バイパス案（別線整備案） |
|---|---|---|---|---|
| ルート概要 | | | 現道課題箇所の改良を行い、現道を活用する案 | バイパス整備を基本とし、一部現道活用により、現道課題箇所を解消する案 |
| 政策目標 | 必要な交通容量の確保 | 交通容量の確保 | 多車線化により、交通容量が確保される | バイパス整備により、交通容量が確保される |
| | 安全な交通環境の確保 | 利用交通の分担 | 現道の多車線化のため、利用交通の混在は解消されない | バイパス整備により、利用交通の分担が図られる |
| | | 安全な交通環境 | 多車線化により現道の渋滞緩和が図られ、渋滞に起因する事故が減少 | バイパス整備により現道の渋滞緩和が図られ、渋滞に起因する事故が減少 |
| | 円滑な物流ルートの確保 | 物流経路の走行性、速達性の向上 | 現道の多車線化により物流ルートの渋滞の緩和を図り、走行性・速達性が向上 | バイパス整備により、現道の渋滞緩和を図り走行性・速達性向上を図るとともに、新たな物流ルートを形成し、産業拠点へのアクセス性が向上 |
| | 安定した救急搬送ルートの確保 | 安定した救急搬送ルート | 救急搬送ルートの渋滞の緩和により、救急搬送の安定性、速達性が向上 | 救急搬送ルートの渋滞の緩和により、救急搬送の安定性、速達性が向上するとともに、救急搬送ルートの選択肢が拡大 |
| その他の配慮事項 | 生活環境 | 沿道環境への影響 | 支障物件数が多いと考えられ、改変範囲が広いため、沿道環境への影響は大きい | 支障物件数が少ないと考えられ、沿道環境への影響は少ない |
| | | 道路利用者への影響 | 市街地部での中央分離帯設置により、出入り制限等の利用形態の改変を伴うため影響は大きい | バイパス区間が主であり、現道活用区間における利用形態の改変の影響は小さい |
| | 自然環境 | 地形・自然環境の改変 | 現道改良のため地形改変が小さく、自然環境への影響は小さい | 一部区間を除くバイパス整備のため、地形改変が発生し自然環境への影響が懸念される |
| | 工事の影響 | 現道交通への影響 | 現道改良のため、施工時に比較的長い区間・長い期間で交通規制が必要となるため、現道交通への影響は大きい | 現道の工事は一部区間のみであるため、施工時の現道交通への影響は小さい |
| | 経済性 | 整備に関する費用 | 約730～830億円 | 約620～720億円 |

※現時点の概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により、金額が変更となる場合があります。

みなさまのご意見をお聞かせください！

## 国道112号 山形南道路（やまがたみなみ）

道路計画検討に関する第2回アンケート 調査

全4問（約4 分程度）

- 国道112号は都市間を結ぶ路線として昭和40年代に整備されましたが、都市の発展とともに利用のされ方が変化し、山形都市圏南西部（対象範囲）の道路に負担が生じているため渋滞や事故などの課題を抱えています。
- 本アンケートは、対象範囲の課題を解決する道路計画検討にあたり、皆様が対応方針（ルート帯）を検討する上で重視すべき事項等について、ご意見をお聞きするために行う調査です。

※ご意見は統計的に処理し、住所・氏名や個人の意見等が特定されることはございません。

### 今回のアンケートと道路計画の流れ

- 地域や道路交通の現状と課題の整理
- アンケート　道路交通・地域の課題把握
- 政策目標の設定 対応方針案の検討
- 今回 アンケート　ルート案に対する意見の把握
- 対応方針の決定

お問い合わせ
国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所 調査第二課
※山形県および山形市と協力してアンケート調査を実施しております。
TEL 023-688-8940　FAX 023-689-1081
(平日 9:00～17:00)

アンケートのご回答は 令和５年●月●日(月) までにお願いします。

# 5-3. 地域の意見聴取(第2回)資料案

［アンケート票　裏面］

＼ たくさんのご回答ありがとうございました！ ／

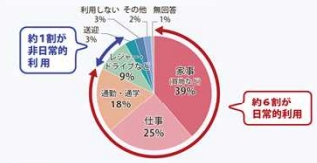
## 第1回アンケート結果の概要

詳細はHPで紹介中

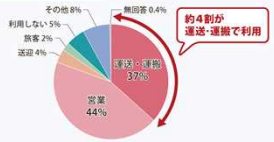
実施期間 令和4年3/28(月)～4/15(金)　国道112号 山形南道路　ご意見募集中！

### 対象区間の利用目的

住民・道路利用者　回答票数 20,140 票



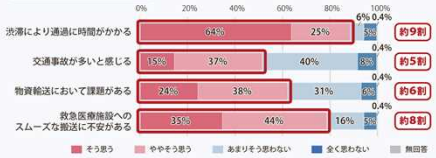

事業者　回答票数 262 票




### 課題の認識

住民・道路利用者　回答票数 20,140 票

事業者　回答票数 262 票




### アンケート結果を踏まえた課題の再整理

#### 1 渋滞発生

- 対象範囲では、右左折による渋滞、道幅の狭さによる渋滞、冬期の渋滞発生の声がありました。

▼(主)山形上山線の走行速度

▼(主)山形上山線の交通状況

撮影日：R4.5.24

#### 2 事故

- 対象範囲では、渋滞発生による事故が起きやすいとの意見がありました。

▼事故類型の比較

#### 3 物流・産業

- 生活交通と物流トラックが同じ道路を通行しており、渋滞は円滑な物資輸送に支障をきたしているという意見がありました。

▼(主)山形上山線の状況

#### 4 救急医療

- 渋滞や道の狭さにより、救急車が追い越しづらいという意見がありました。

▼模式図（準備中）

▼国道112号の救急車の走行状況

**ご意見を踏まえて、ルート帯を検討する上で重視すべき事項について、以下の８項目を考えています。**

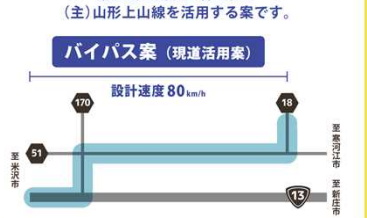
| 政策目標 | 配慮すべき事項 |
|---|---|
| ① 必要な交通容量の確保 | ⑤ 生活環境 |
| ② 安全な交通環境の確保 | ⑥ 自然環境 |
| ③ 円滑な物流ルートの確保 | ⑦ 工事の影響 |
| ④ 安定した救急搬送ルートの確保 | ⑧ 経済性 |

地域や道路の課題解消のため、

## 2つの案を立案しました

### 案1 バイパス案（現道活用案）

県道蔵王成沢長谷堂線と（主）山形上山線を活用する案です。




### 案2 バイパス案（別線整備案）

一部現道活用しつつ、バイパス整備により現道課題箇所を解消する案です。

詳細は裏面をご覧ください≫

# 5-3. 地域の意見聴取(第2回)資料案

【地域住民用】

［質問票　表面］

［質問票　裏面］

# 5-3. 地域の意見聴取(第2回)資料案

【事業者用】

［質問票　表面］

やまがたみなみ
## 国道112号 山形南道路
### 道路計画に関する 第2回アンケート調査

全4問（約4分程度）

国道112号山形南道路の道路計画を検討するにあたり、地域の皆様のご意見をお聞かせください。

▼ 回答方法は Web または はがき からお選びいただけます。

**Webで回答する**　以下のどちらかの方法でお答えください。　手軽なWeb回答がおすすめです！

① スマートフォンから
スマートフォンで右のQRコードからアクセスしてください。
※QRコードの商標は、(株)デンソーウェーブの登録商標です。

② パソコンから
「山形河川国道事務所」で検索し、"国道国道112号 山形南道路"のバナーをクリックしてください。

見本

**はがきで回答する**　本誌の回答はがきに回答をご記入いただき、以下のどちらかの方法で返信してください。

① 郵便ポストに投函
お近くの郵便ポストに投函してください。

② 回収ボックスに投函
山形河川国道事務所、山形市・上山市・中山町・山辺町の市役所・役場、公共施設、道の駅等の回収ボックスに投函してください。
注）設置場所の詳細は「山形河川国道事務所」で検索し、左記バナーからご確認頂けます。

回収BOX

### 質問票

このアンケートは山形市、上山市、山辺町、中山町の製造業、卸売業等の事業所に配布しています。

**企業(または部署)としてのご回答**をお願いいたします。

事業所配布のアンケートは、**各事業所1通分の送付**としております。お近くの郵便ポストに投函いただくか、下記の設置場所の回収ボックスに投函をお願い致します。

また、インターネットからの回答も可能となっております。

◆返信方法
※以下のいずれかで返信をお願い致します。
①お近くの**郵便ポスト**に投函をお願い致します。
②山形河川国道事務所、山形市・上山市・山辺町・中山町の市役所・役場や、道の駅等の**回収ボックス**に投函をお願い致します。

◆締切　令和5年●月●日

### 回答はがき

郵便はがき

料金受取人払郵便

差出有効期間
令和5年●月
●日まで

山形県山形市成沢西四丁目3-55
国土交通省　東北地方整備局
山形河川国道事務所　調査第二課
アンケート事務局 行

ご協力お願いいたします。

| 貴事業所についてお聞かせください。 | |
|---|---|
| 貴社名 | |
| 業種 | □ 製造業　□ 運輸業<br>□ その他［　　］ |
| 電話番号 | |
| 所在地 | 郵便番号［　　］<br>［　　］都・道・府・県<br>［　　］市・町・村<br>地区名［　　］ |
| ご担当者様 | 所属［　　］<br>氏名［　　］ |
| 第1回アンケートへの回答 | □ 回答した　□ 回答していない |

※個人情報保護法に基づき第三者に開示・提供することはありません。（法令により開示を求められた場合を除きます。）

⇒裏面に続きます

［質問票　裏面］

## 質問票
（回答はがきに記入をお願い致します。）

| 問1　対象範囲（山形都市圏南部）の道路利用についてお伺いします。（それぞれ当てはまるものひとつに○を付けてください） | |
|---|---|
| A．主な利用目的（主なものひとつに○） | 1．運送・運搬　2．営業　3．従業員の通勤<br>4．利用しない（※問2へ）　5．その他（カッコ内にご記入ください） |
| B．利用頻度（ひとつに○） | 1．週に5回以上　2．週に3～4回　3．週に1～2回　4．月に1～2回　5．年に数回 |
| C．移動手段（主なものひとつに○） | 1．乗用車　2．大型貨物車　3．小型貨物車　4．その他（カッコ内にご記入ください） |

| 問2　対策案を検討する際に重視すべきと思われる度合を「重視すべき」「必ずしも重視しなくても良い」「重視しなくて良い」から選んでください。 | |
|---|---|
| 1．渋滞が緩和されること（渋滞） | 5．生活環境に対する影響が小さいこと（生活環境） |
| 2．交通事故が減少すること（事故） | 6．自然環境への影響が小さいこと（自然環境） |
| 3．物流経路の走行性・速達性が向上すること（物流） | 7．工事の影響が小さいこと（工事の影響） |
| 4．救急搬送の安定性・速達性が向上すること（救急搬送） | 8．整備にかかる費用が安いこと（経済性） |

問3　問2でチェックした項目について、そう思われる理由をお書きください。

問4　問2でチェックした項目以外で、重視すべきと思われることをお書きください。

<切り>

**国道112号 山形南道路 アンケート調査 回答欄**

| 問1.　それぞれ該当するもの1つに○を付けてください。 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| A．主な利用目的 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5（　　） |
| B．利用頻度 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| C．利用手段 | 1 | 2 | 3 | 4（　　） | |

問2．　重視すべきと思われる度合に○をつけてください。

| 項　目 | 重視すべき | 必ずしも重視しなくても良い | 重視しなくて良い |
|---|---|---|---|
| 1．渋滞 | | | |
| 2．事故 | | | |
| 3．物流 | | | |
| 4．救急搬送 | | | |
| 5．生活環境 | | | |
| 6．自然環境 | | | |
| 7．工事の影響 | | | |
| 8．経済性 | | | |

問3．　重視すべきと思われる理由
問2でチェックした項目について、そう思われる理由をお書きください。

問4．　他に重視すべきと思われること
問2でチェックした項目以外で、重視すべきと思われることをお書きください。

ご協力ありがとうございました

**回答例**
●あてはまる番号に○を付けて下さい。
●自由回答欄にはご意見をご記入下さい。

| 問1.　それぞれ該当するもの1つに○を付けてください。 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| A．主な利用目的 | 1 | ② | 3 | 4 | 5（　　） |
| B．利用頻度 | ① | 2 | 3 | 4 | 5 |
| C．利用手段 | 1 | ② | 3 | 4（　　） | |

問2．　重視すべきと思われる度合に○をつけてください。

| 項　目 | 重視すべき | 必ずしも重視しなくても良い | 重視しなくて良い |
|---|---|---|---|
| 1．渋滞 | ○ | | |
| 2．事故 | ○ | | |
| 3．物流 | | ○ | |
| 4．救急搬送 | ○ | | |
| 5．生活環境 | | ○ | |
| 6．自然環境 | ○ | | |
| 7．工事の影響 | ○ | | |
| 8．経済性 | | ○ | |

問3．　重視すべきと思われる理由
問2でチェックした項目について、そう思われる理由をお書きください。
そう思われる理由をお書きください
（●●●●●●●●●●●●●●●●●●　など）

問4．　他に重視すべきと思われること
問2でチェックした項目以外で、重視すべきと思われることをお書きください。
重視すべきと思われることをお書きください
（●●●●●●●●●●●●●●●●●●　など）

ご協力ありがとうございました